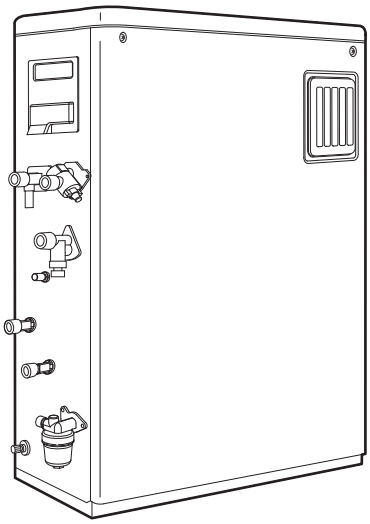
Asahi

水道直圧式
石油給湯機付ふろがま
取扱説明書



Maximum Heatingsystem in every way B-Max34

型名 ASE-K34

このたびはAsahi製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用の前に、『所有者票』(製品に添付)を返送していただき、所有者登録を行ってください。

●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。

●保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。

●取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●必ず良質の灯油(JIS 1号灯油)を使用してください。

●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

10057264(DT)

もくじ

ページ

ご使用の前に

特に注意していただきたいこと…… 1
各部のなまえ
外観図…… 9
本体構造図…… 10
バーナー構造図…… 10
メインリモコン(CMR-2322P)…… 11
ふろリモコン(YST-2320P)…… 13
モード設定について…… 15
使用前の準備…… 16

運転のしかた

使用方法
現在時刻の設定…… 18
給湯運転…… 19
給湯モードの切替について…… 21
追いだき運転…… 24
ふろ自動運転…… 25
保温時間の設定…… 27
ふろ予約運転の予約時刻設定…… 28
ふろ予約運転…… 29
たし湯運転…… 30
ぬるめ運転…… 31
配管洗浄…… 32
チャイルドロックの設定…… 35
リモコン表示部の明るさ設定…… 36
リモコン表示部のコントラスト設定…… 37
表示モード設定…… 38
表示モード設定について…… 38
ガイド音量設定…… 39
操作音量設定…… 40
インターホンの通話方式について…… 41
インターホンの使いかた…… 41
インターホンの通話音量設定…… 43
インターホンの通話方式設定…… 44
インターホンの通話終了時間設定…… 45
音声一覧…… 46
使用上の注意…… 47
凍結予防…… 49
安全装置…… 52
その他の装置…… 53

上手に使ってね

日常の点検・手入れ
点検、手入れのときの注意…… 54
点検、手入れの必要項目、時期、方法…… 54

故障かな?

故障・異常の見分けかたと処置方法…… 57
部品交換のしかた…… 59
定期点検…… 59
法定点検…… 59
仕　様…… 60
アフターサービス…… 61
据付け…… 62

特に注意していただきたいこと

●ご使用の前に、この「**特に注意していただきたいこと**」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示について次のような意味があります。

禁止		ガソリン厳禁	注意		一般的な注意
		接触禁止			高温注意
		分解禁止			感電注意
		一般的な禁止	指示		電源プラグを抜くこと
					アースを接続すること
					必ず行うこと

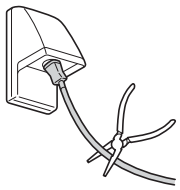
● は参考になるページです。

⚠警告(WARNING)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

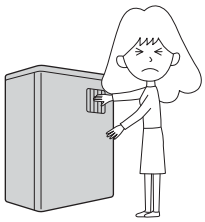
電源コードを切断して延長しない



電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。感電や火災の原因になります。

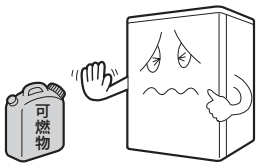
⚠注意（CAUTION）

高温部接触禁止



燃焼中や消火直後は、高温部（機器や排気部）に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

可燃物禁止

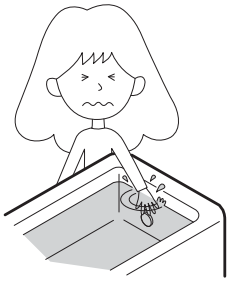


壁や周囲の可燃物から充分離して設置してください。（工事説明書参照）
また、機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災の原因になります。

高温注意

シャワーを使用するときや入浴するときは手で湯温を確かめてください。
やけどのおそれがあります。
また、シャワーの使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。
やけどのおそれがあります。

ソーラ 1及びソーラ 2モードの場合、給湯栓を絞りすぎて、流量が少なくなると、太陽熱温水器のあついお湯がそのまま出る場合がありますのでご注意ください。
また、リモコン表示部にエラーコード「541」が表示した場合は、太陽熱温水器のあついお湯が出る場合がありますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。
給湯栓またはシャワーを閉じて再び開いたとき、追いだき中やその直後は一瞬あついお湯が出ることがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。

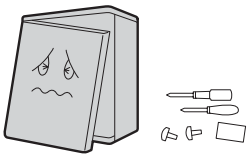


循環口のまわりは高温になりますので、注意してください。やけどのおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

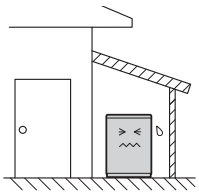
⚠注意（CAUTION）

分解修理・改造の禁止
（感電・漏電・火災の原因）



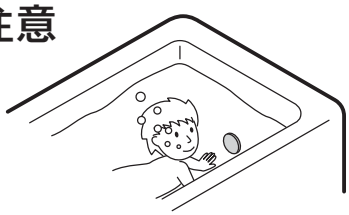
故障・破損したら、使用しないでください。不完全な修理は危険です。絶対にしないでください。

囲い禁止



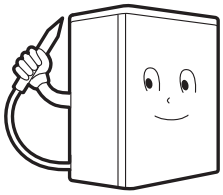
機器や排気部を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災の原因になります。

子どもに注意



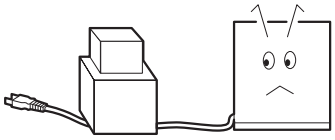
循環口付近でもぐらないでください。吸い込まれて事故やケガをするおそれがあります。特に小さなお子様には注意してください。

必ずアースをする



この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

電源コードを傷めない



電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

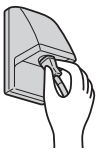
濡れた手危険

電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあり、危険です。

電源プラグを抜いて停止させない

電源プラグを抜いて機器を停止させないでください。火災や故障の原因になります。
必ず運転スイッチで停止させてください。

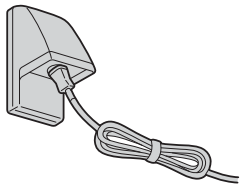
電源プラグは確実に差し込む



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。

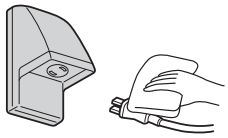
⚠注意(CAUTION)

電源コードは束ねたまま使用しない



電源コードは絶対に丸めたり束ねたまま使用しないでください。発熱や火災の原因になります。

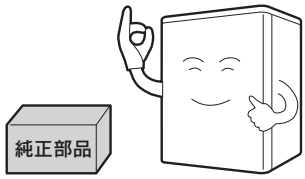
電源プラグのお手入れをする



ときどきは電源プラグを抜き、ほこり(及び金属物)を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

純正部品以外は使用しない

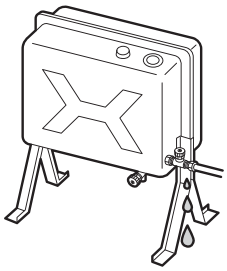
(事故の原因)



部品は必ず**Asahi石油給湯機付ふろがま純正部品(指定された部品)**を使用してください。

油漏れに注意

(火災の原因)



機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないか確認してください。

家庭用以外の使用禁止

(事故の原因)

この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。寿命が短くなったり、故障の原因になります。業務用に使用した場合は、保証の対象外になります。
家庭の給湯、シャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になりなす。

安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。52・53ページ

異常時使用禁止

万一異常(音や煙、臭いなど)を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

⚠注意(CAUTION)

長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。

50･51ページ

コンセントや配線器具の定格をこえる使い方や交流100V以外での使用はしない

防雨型コンセントを使用してください。
他の器具と併用すると、発熱による火災の原因になります。

変質灯油・不純灯油は使わない

変質灯油や不純灯油などは絶対に使用しないでください。
異常燃焼や故障の原因になります。

お手入れするときは本体が冷えた後、電源プラグを抜いてから行う

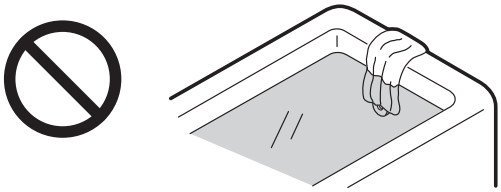
感電・やけどのおそれがあります。

上に乗ったり、物を乗せたりしない

落下・転倒など、ケガの原因になります。
機器を損傷するおそれがあります。

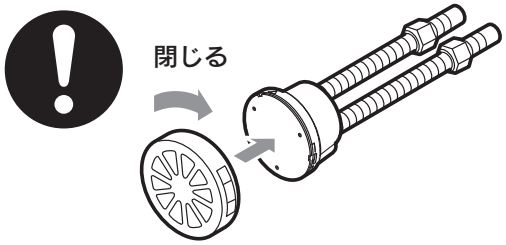
お願い(NOTICE)

循環口をふさがないで
（故障の原因）



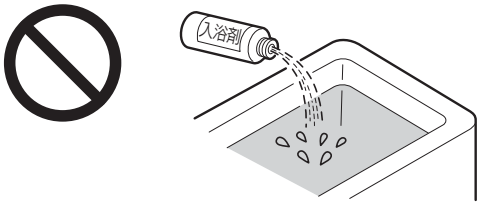
浴そうの循環口は手や足、タオルなどでふさがないでください。

循環口フィルタを必ずつける



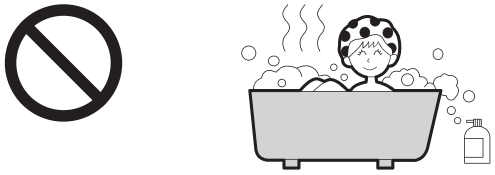
循環口フィルタをはずして使用しないでください。循環ポンプに髪の毛やゴミがつまり故障の原因になります。

入浴剤・洗剤に注意



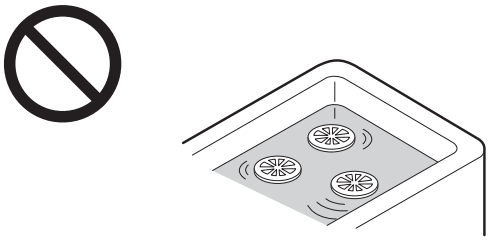
温泉水やイオウ、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因になりますので使用しないでください。

石けんの使用禁止



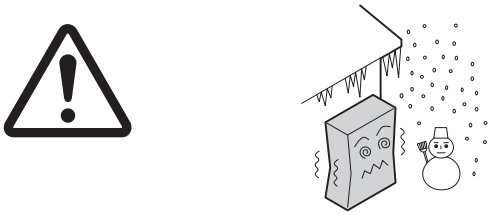
浴そう内では石けんやボディーシャンプーを使用しないでください。
次回使用時に泡が出たり、循環ポンプの故障の原因になります。

循環口フィルタのつまりに注意
（故障の原因）



浴そうにミカンやレモンなどを浮かべて使用しないでください。また、ポプリなどをご使用の場合は、袋などに入れて使用してください。

凍結に注意
（故障の原因）



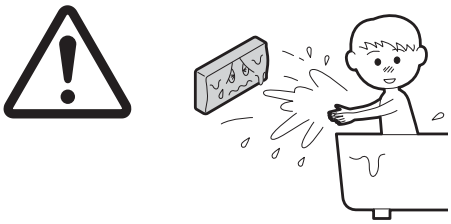
冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。

49～52 ページ

特に注意していただきたいこと

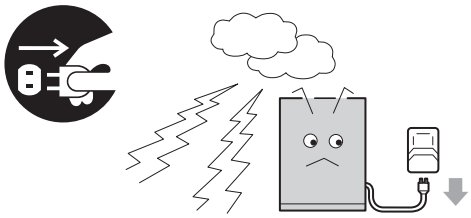
お願い（NOTICE）

リモコンに水をかけない



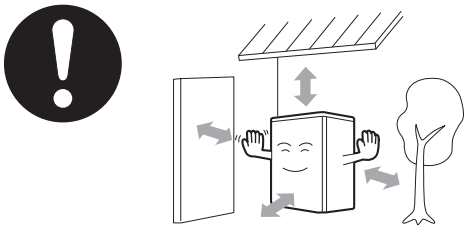
リモコンに水をかけないでください。
故障の原因になります。

落雷のおそれがあるときの処置



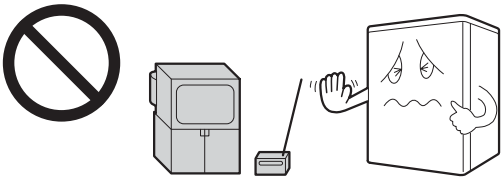
雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、運転スイッチで停止させてから、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

サービススペースの確保



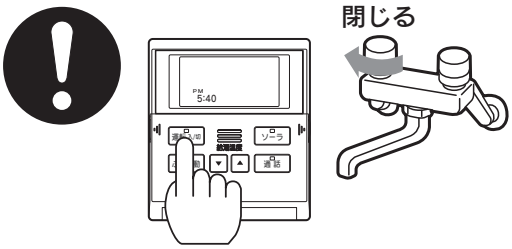
機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。

電気器具の近くに設置しない



テレビやラジオなどの近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。
離して設置してください。

断水のときは



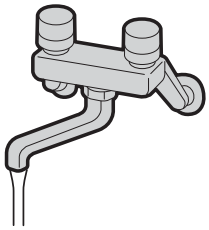
給湯じゃ口を閉じ、運転スイッチを「**切**」にしてください。

高地で使用する場合はご相談を…

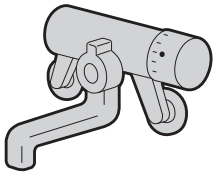
標高1,000～1,300mの高地で使用する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
※標高1,300m以上では使用できません。

お願い(NOTICE)

混合水栓について

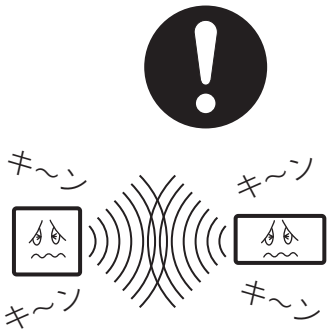


混合水栓は通水抵抗の少ないもの、また、シャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください(出湯量が少なくなる可能性があります)。水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。



やけど防止のためサーモスタット付混合水栓(通水抵抗の少ないもの)の使用をおすすめします。リモコンの設定温度は湯温安定の為、混合水栓の設定温度より高めにして使用することをおすすめします。

リモコンの設置場所について



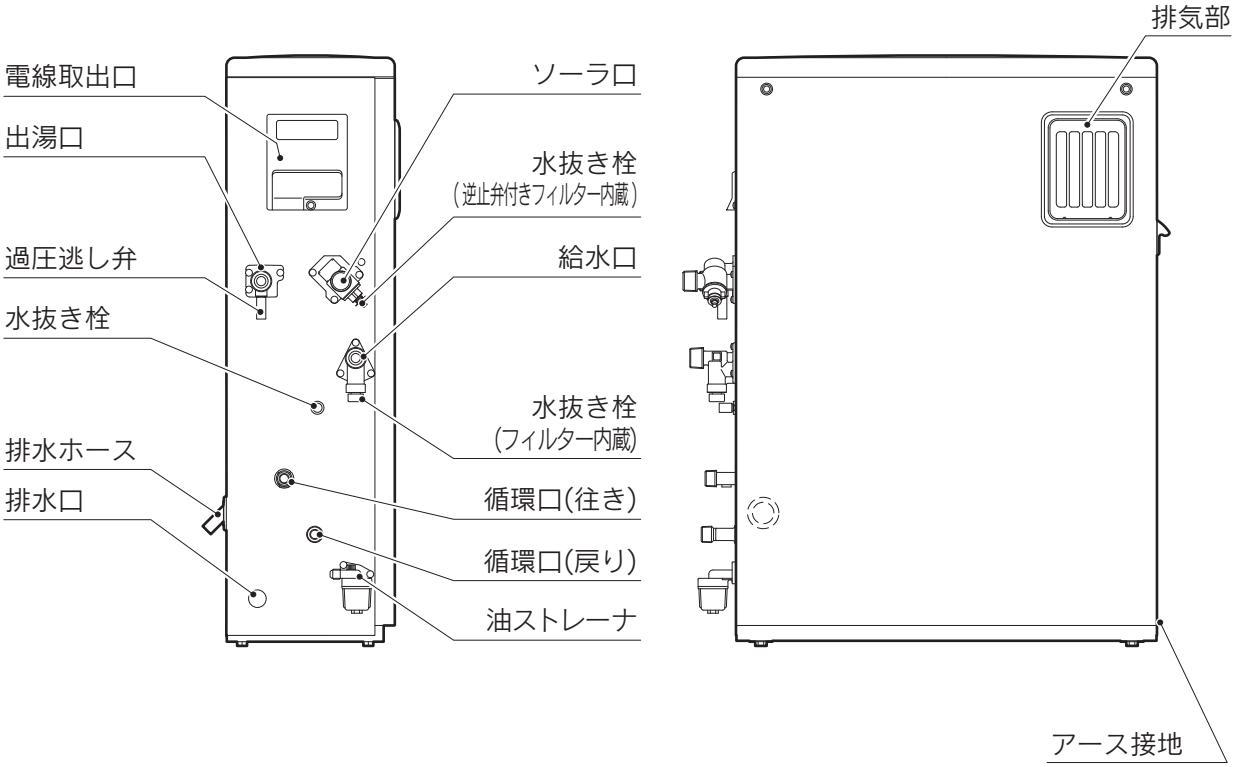
メインリモコンとふろリモコンの設置場所が近い場合、インターホン通話をすると、ハウリング（キーンなどの大きな音がする現象)を起こすことがあります。
そのような場合は、お買い求めの販売店に連絡して、リモコンの設置場所やリモコンの向きを変更してください。

給水源について

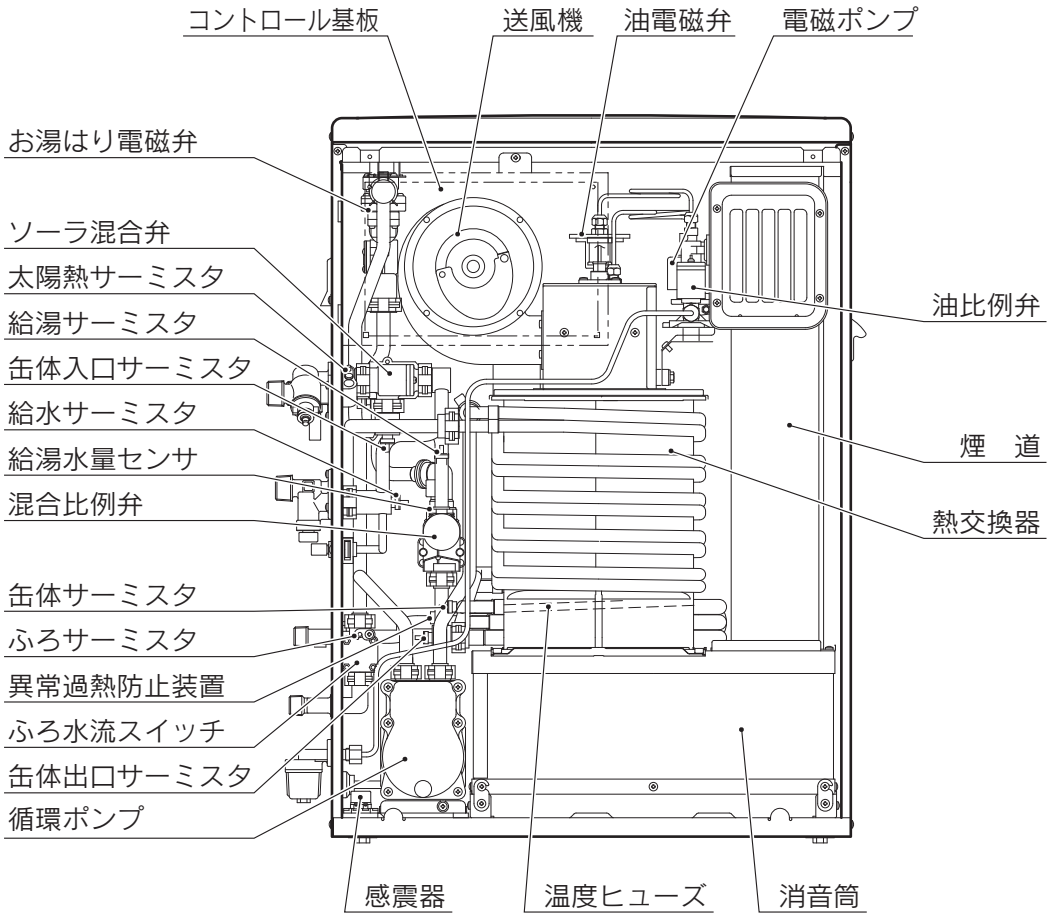
この機器を温泉水・井戸水で使用すると、機器の熱交換器・内部配管の水漏れなど耐久性を損なう場合がありますので使用しないでください。

各部のなまえ

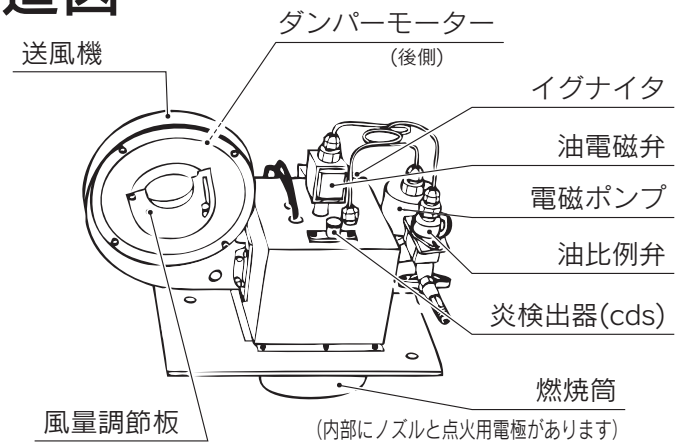
外観図


電線取出口
出湯口
過圧逃し弁
水抜き栓
排水ホース
排水口
ソーラ口
水抜き栓
(逆止弁付きフィルター内蔵)
給水口
水抜き栓
(フィルター内蔵)
循環口(往き)
循環口(戻り)
油ストレーナ
排気部
アース接地

本体構造図



バーナー構造図



各部のなまえ

メインリモコン（CMR-2322P）

①スピーカー
ここから音声や音が出ます。

②運転スイッチ（運転ランプ）
運転、停止、リセットするときに押します。
運転スイッチが「入」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

③ふろ自動スイッチ（ふろ自動ランプ）
ふろ自動運転するときに押します。
点灯…お湯はり中またはお湯はり準備中です。
点滅…保温運転中です。

④給湯温度調節スイッチ
給湯温度を調節するときに押します。
優先表示が点灯しているときのみ、給湯温度の調節ができます。
▲…温度を高くします。
▼…温度を低くします。
温度調節範囲…約37～60℃
37℃～50℃(1℃ごと)・55℃・60℃に設定できます。

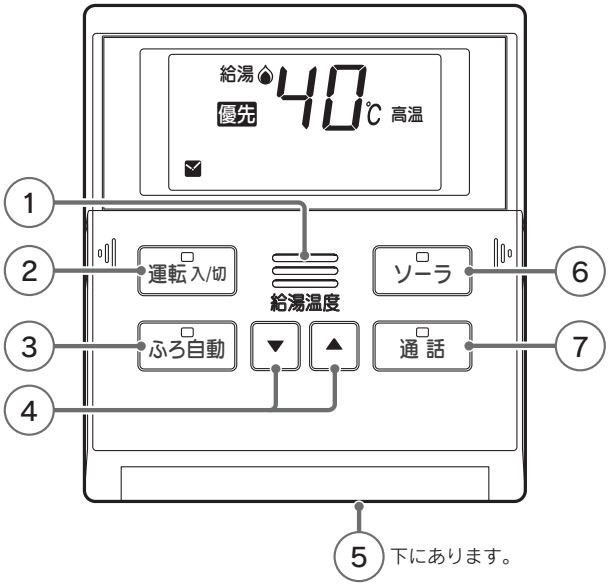
⑤マイク
通話するときに使います。

⑥ソーラスイッチ（ソーララン プ）
給湯モードを切り替えるときに押します。
ソーラスイッチを押すごとに給湯モードが切り替ります。

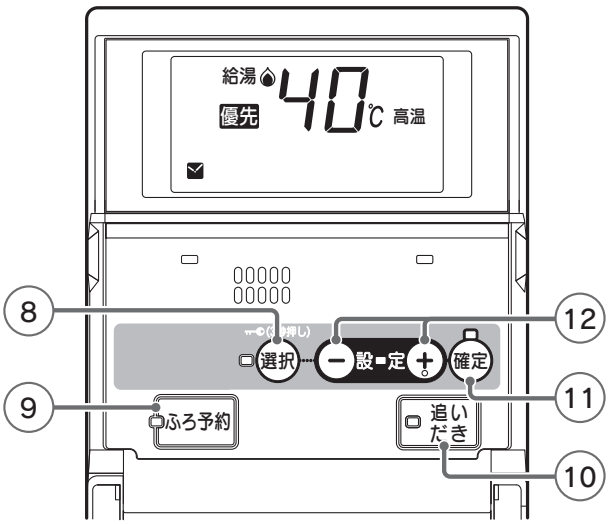
ボイラーモード（ランプ消灯）→ ソーラ1モード（ランプ点灯）→ ソーラ2モード（ランプ点灯）

21～23ページ

ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。



⑦通話スイッチ（通話ランプ）
ふろリモコンと通話するときに押します。

⑧選択スイッチ
モード設定をするときに押します。
15ページ
約3秒間押し続けると、チャイルドロックの設定/解除ができます。

⑨ふろ予約スイッチ（ふろ予約ランプ）
ふろ自動運転を予約するときに押します。
点灯…ふろ自動運転を予約中です。

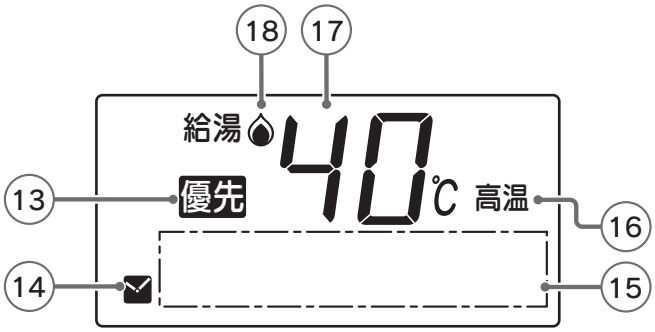
⑩追いだきスイッチ（追いだきランプ）
追いだき運転をするときに押します。
追いだきスイッチが「入」のときに点灯します。

⑪確定スイッチ
モード設定の内容を確定するときに押します。

⑫設定スイッチ
モード設定の内容を変更するときに押します。
⊕…設定値を進めます。
⊖…設定値を戻します。

●表示は説明のためのもので、実際とは異なります。
●音声ガイドの種類は46ページを参照してください。

表示部



⑬優先表示	⑮ドット表示	⑯高温表示
この表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。	現在時刻、ふろ予約、給湯モード、選択スイッチなどで設定した内容、エラーコードなどを表示します。 57ページ この説明書の中ではドット表示は通常の文字として表現しており、実際とは異なります。	給湯温度を55℃以上にしたときに表示します。
⑭予約表示		**⑰温度表示**
ふろ自動運転の予約中に表示します。		給湯温度を表示します。
		⑱燃焼表示
		点灯…バーナーが燃焼しています。 **点滅**…安全装置が作動し燃焼が停止しています。

●表示は説明のためのもので、実際とは異なります。

ディスプレイの特性について

●液晶ディスプレイは表示内容やコントラスト調整などにより明るさにムラが生じる場合がありますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイの画面を正面から見ると表示色が変化して見える場合がありますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイは気温が下がると表示がゆっくり消えたりする場合がありますが故障ではありません。

ふろリモコン（YST-2320P）

①スピーカー

ここから音声や音が出ます。

②運転スイッチ（運転ランプ）

運転、停止、リセットするときに押します。
運転スイッチが「**入**」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
運転スイッチを一度「**切**」にしてから再度「**入**」にします。

③ふろ自動スイッチ（ふろ自動ランプ）

ふろ自動運転するときに押します。
点灯…お湯はり中またはお湯はり準備中です。
点滅…保温運転中です。

④追いだきスイッチ（追いだきランプ）

追いだき運転をするときに押します。
追いだきスイッチが「**入**」のときに点灯します。

⑤通話スイッチ（通話ランプ）

メインリモコンと通話するときに押します。

⑥ソーラスイッチ（ソーラランプ）

給湯モードを切り替えるときに押します。ソーラスイッチを押すごとに給湯モードが切り替ります。

ボイラーモード（ランプ消灯）→ ソーラ1モード（ランプ点灯）→ ソーラ2モード（ランプ点灯）

⑦マイク

通話するときに使います。

⑧設定スイッチ

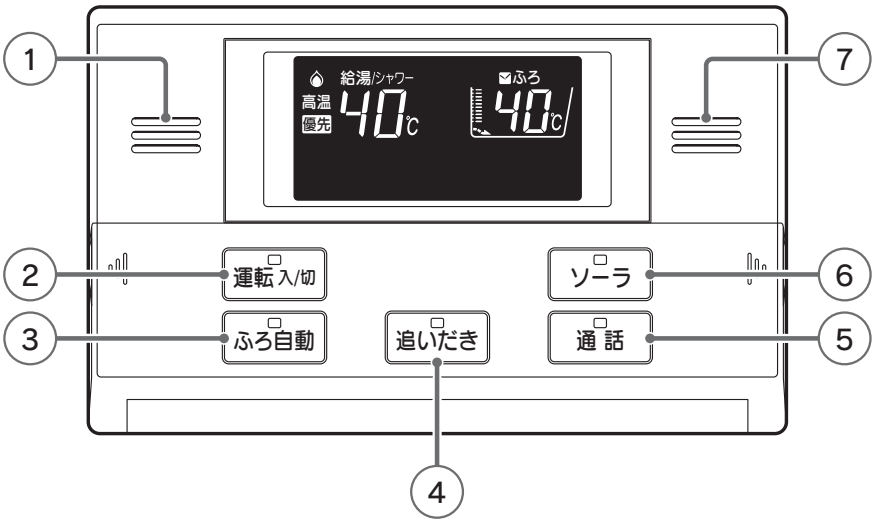
モード設定の内容を変更するときに押します。
⊕…設定値を進めます。
⊖…設定値を戻します。

⑨選択スイッチ

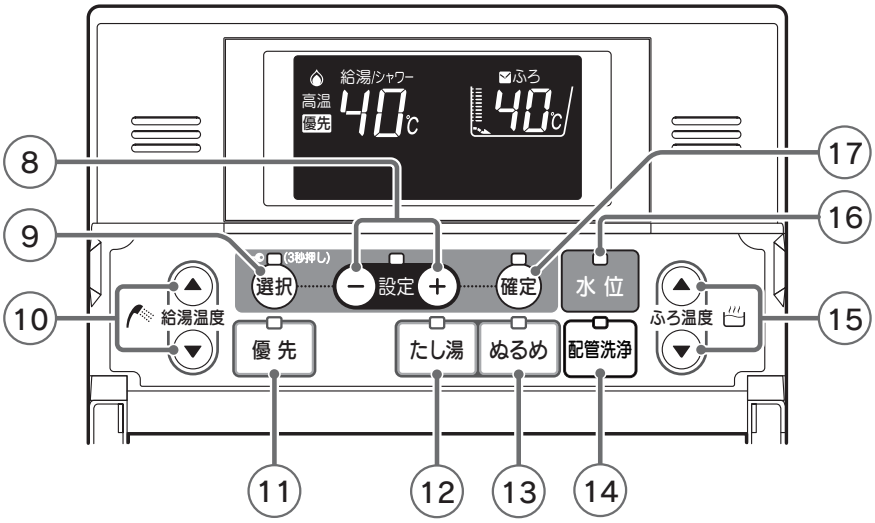
モード設定をするときに押します。 15ページ

約3秒間押し続けると、チャイルドロックの設定/解除ができます。

ふたを閉じた状態です。



ふたを開けた状態です。



●表示は説明のためのもので、実際とは異なります。
●音声ガイドの種類は46ページを参照してください。

⑩給湯温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。
優先表示が点灯しているときのみ、給湯温度の調節ができます。
▲…温度を高くします。
▼…温度を低くします。
温度調節範囲…約37～60℃
37℃～50℃(1℃ごと)・55℃・60℃に設定できます。

⑪優先スイッチ（優先ランプ）

ふろリモコンで給湯温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑫たし湯スイッチ（たし湯ランプ）

浴そうにたし湯するときに押します。
たし湯スイッチが「入」のときに点灯します。

⑬ぬるめスイッチ（ぬるめランプ）

浴そうにさし水するときに押します。ぬるめスイッチが「入」のときに点灯します。

⑭配管洗浄スイッチ（配管洗浄ランプ）

ふろ配管の残水を洗い流すとき、または配管洗浄剤を使用して配管洗浄するときに押します。配管洗浄スイッチが「入」のときに点灯します。

⑮ふろ温度調節スイッチ

ふろ自動運転、追いだき運転、たし湯運転、配管洗浄運転の温度を調節するときに押します。
▲…温度を高くします。
▼…温度を低くします。
温度調節範囲…約35～48℃
1℃ごとに設定できます。

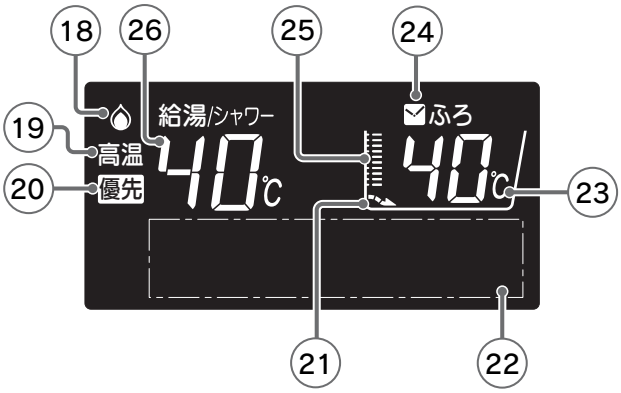
⑯水位スイッチ

ふろ自動運転で、浴そうの水位を設定するときに押します。
押すと水位が増えます。

⑰確定スイッチ

モード設定の内容を確定するときに押します。

表示部



⑱燃焼表示

点灯…バーナーが燃焼しています。
点滅…安全装置が作動し燃焼が停止しています。

⑲高温表示

給湯温度を55℃以上にしたときに表示します。

⑳優先表示

この表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

㉑お湯はり表示

ふろ自動運転やたし湯運転、ぬるめ運転、配管洗浄で浴そうにお湯(水)を入れているときに表示します。

㉒ドット表示

現在時刻、選択スイッチなどで設定した内容、給湯モード、エラーコードなどを表示します。57ページ

この説明書の中ではドット表示は通常の文字として表現しており、実際とは異なります。

㉓ふろ温度表示

ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。

㉔予約表示

ふろ自動運転の予約中に表示します。

㉕水位表示

ふろ自動運転で設定した浴そうの水位を表示します。

㉖給湯温度表示

給湯温度を表示します。

●表示は説明のためのもので、実際とは異なります。

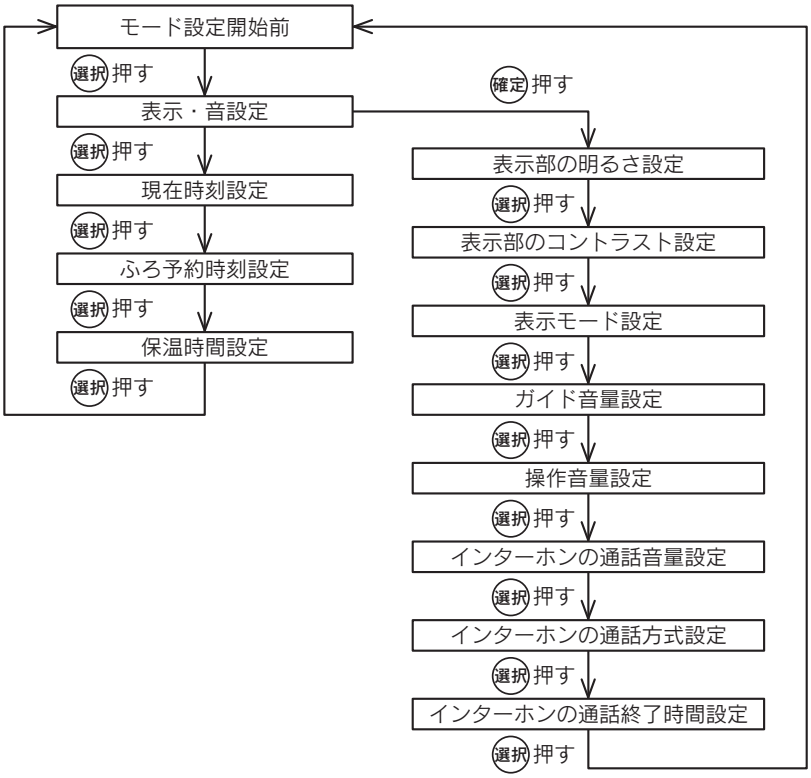
ディスプレイの特性について

●液晶ディスプレイは表示内容やコントラスト調整などにより明るさにムラが生じる場合がありますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイの画面を正面から見ると表示色が変化して見える場合がありますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイは気温が下がると表示がゆっくり消えたりする場合がありますが故障ではありません。

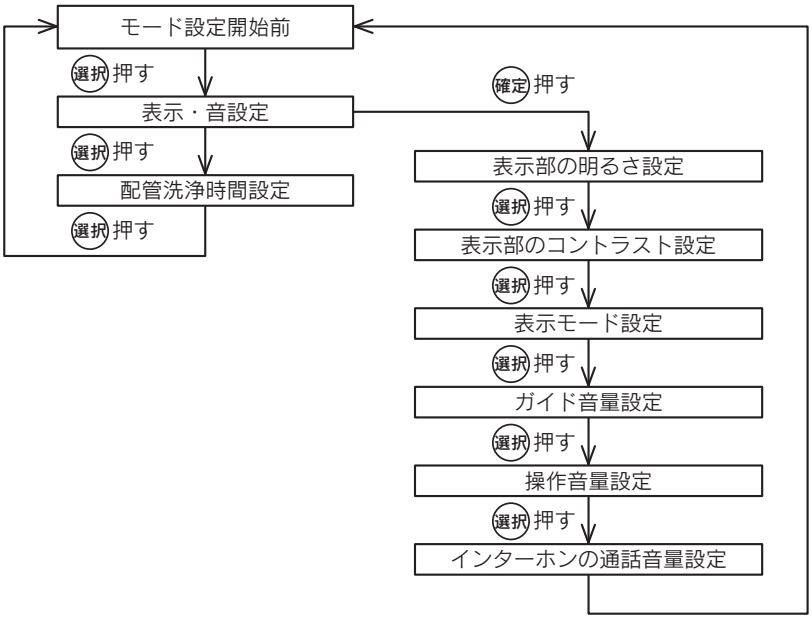
モード設定について

●選択スイッチを押すごとに、下記の順番で設定モードを表示します。
選択した設定モードをリモコンのドット表示部に表示します。

≪メインリモコン(CMR-2322P)の場合≫



≪ふろリモコン(YST-2320P)の場合≫



使用前の準備

燃料

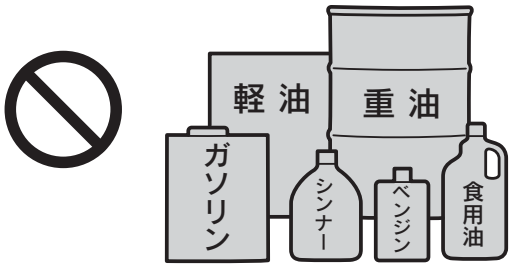
燃料は灯油（JIS 1号灯油）を必ず使用してください。

⚠警告

ガソリン、ベンジン、シンナー、重油、軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

⚠警告

変質灯油や不純灯油などは絶対に使用しないでください。
異常燃焼や故障の原因になります。



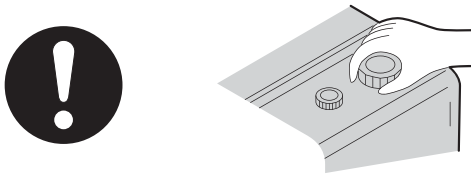
給油

給油は必ず消火を確かめてから行ってください。

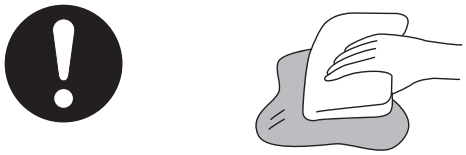
1 給油の際の注意

給油の際に水、ゴミなどが入らないように特に注意してください。
水、ゴミなどは燃焼不良やバーナーの寿命低下などの原因になります。

2 給油口ふたは確実に締める



3 こぼれた灯油はふきとる



4 燃料切れをしたときは

燃料を切らした場合は警報が出ます。油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。（リセットすることにより、送油経路の空気抜きが行われます。）何度もリセットを繰り返すと危険です。
２、３回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

※**リセット（警報解除）の方法**…リモコンの運転スイッチを一度「**切**」にしてから再度「**入**」にします。

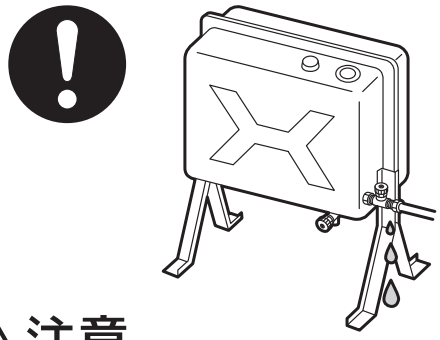
●燃料切れをしたときは、機器内の空気が抜けるまで振動音が出たり、点火しないで警報になることがありますが故障ではありません。
●何度も空運転（電磁ポンプ内に灯油がない状態での運転）すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。

点火前の準備と確認

1 給水および水漏れの確認

（1）給湯じゃ口を開き、じゃ口から水が出ることを確認してください。
（2）機器や接続部から水漏れしていないか確認してください。
（3）浴そうの排水栓は水漏れのないようにしっかりつけてください。
（4）追いだき運転、たし湯運転をする場合は浴そうの水位を確認してから運転してください。
必ず浴そうの循環口から**約10cm以上**給水してください。

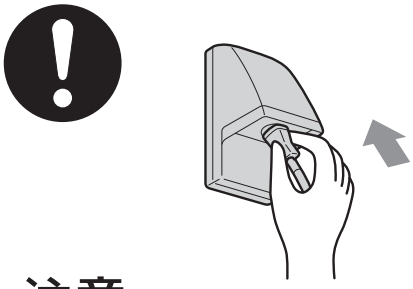
2 送油経路の点検



⚠注意

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

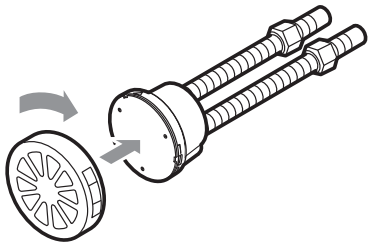
3 電源プラグの確認



⚠注意

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

4 フィルタの確認



浴そうの循環口フィルタが取付けられていることを確認してください。

5 周囲の点検

⚠注意

機器本体および排気部、油タンクの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

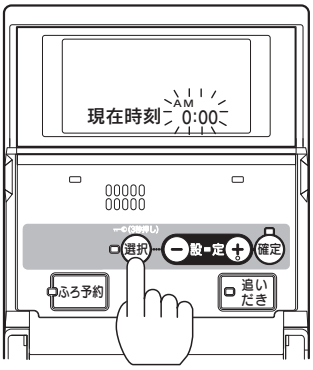
6 排気吹出し方向を変えたい時

排気吹出し方向に植木や窓などがあって排気の吹出し方向を変えたいときは、別販の排気カバー**(VK-HH-2)**を使用してください。

使用方法

現在時刻の設定

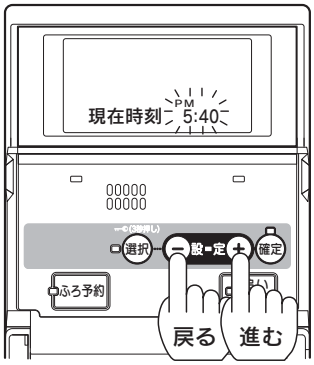
1 メインリモコンの選択スイッチを２回押して「現在時刻」を表示させる



ふたを開いた状態です。

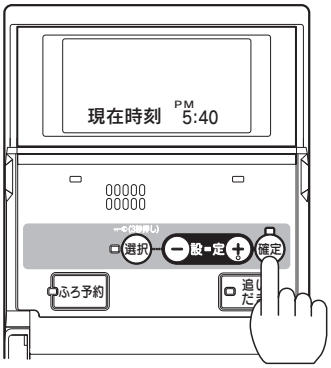
15 ページ

2 設定スイッチを押す



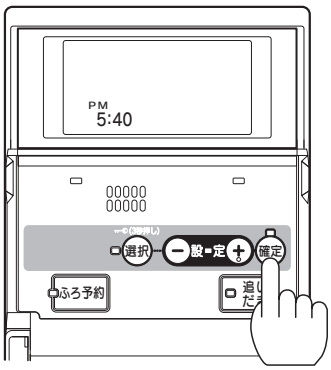
現在時刻を設定します。
１回ずつ押すと１分、押し続けると１０分単位で変わります。

3 確定スイッチを押す



設定が変更されると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 停電した後は現在時刻が合っているか確認してください。
- 時計合わせをしないと、ふろ予約運転はできません。
  （AMは午前、PMは午後です。）
- 時計の精度は月差で30秒以内です。

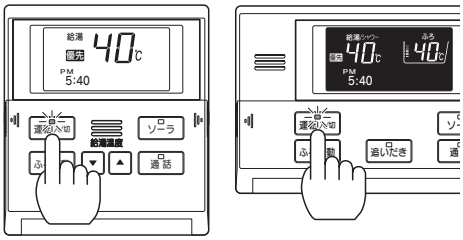
給湯運転（お湯を出します）

⚠注意

シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをするおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。

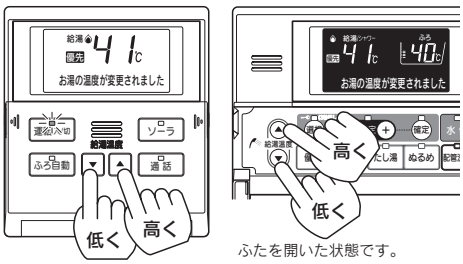
1 運転スイッチを「入」にする

〈メインリモコンの場合〉　〈ふろリモコンの場合〉



運転ランプが点灯します。
操作したリモコンの「**優先**」表示が点灯します。

2 給湯温度調節スイッチを押す（給湯温度を設定します）

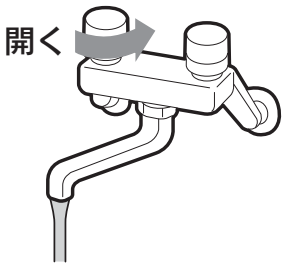


ふたを開いた状態です。

「**優先**」表示が点灯しているリモコンで、**約37～60℃**の範囲で調節できます。37℃～50℃（1℃ごと）・55℃・60℃に設定できます。
給湯温度が変更されると、ドット表示部と音声で「**お湯の温度が変更されました**」とお知らせします。
給湯温度を55℃以上に設定すると「**高温**」表示が点灯し、ドット表示部と音声で「**あついお湯が出ます**」とお知らせします。

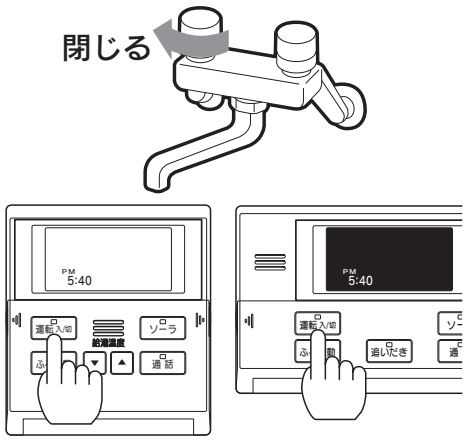
メインリモコン表示部　ふろリモコン表示部

3 給湯じゃ口を開く



自動的にバーナーが点火し、リモコンに燃焼表示が点灯してお湯が出ます。

4 給湯じゃ口を閉じる



長時間使用しないときはどちらかのリモコンで運転スイッチを「**切**」にしてください。

●給湯中に追いだき運転をすると、設定温度にならないことや、給湯量が減ることがあります。
●ふろ自動運転やたし湯運転中に給湯すると給湯優先になり、それぞれの運転は一時中断します。
●サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンでの温度調節を低い温度に設定すると希望の温度にならないことがあります。このようなときには給湯温度を高い温度に設定してください。
●じゃ口から出る水が少ないときは、着火しないことがあります。着火できる最少の流量は１分間に約３リットルです。

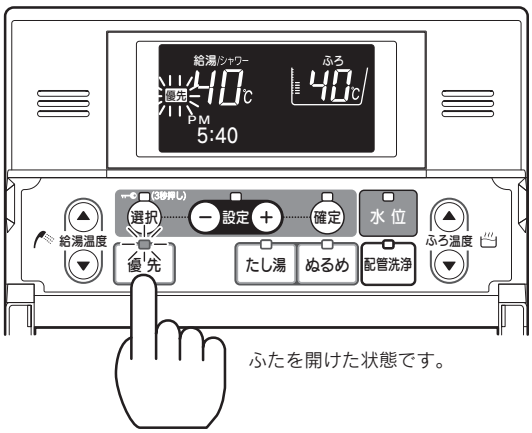
〔リモコンの優先について〕

「**優先**」表示が点灯しているリモコンでのみ給湯温度調節ができる機能です。

⚠注意

シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをするおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。

ふろリモコンを優先にする場合



ふたを開けた状態です。

ふろリモコンの優先スイッチを押す

●優先ランプ、「**優先**」表示が点灯して給湯温度調節ができるようになります。
●再度優先スイッチを押すとふろリモコンの優先が解除され、メインリモコンが優先になります。

〔給湯量と給湯温度の早見表〕　（ボイラーモード運転の場合）

●給湯量と給湯温度との関係は下表がめやすになります。
　機器本体の最大給湯量は約20L/分、最小給湯量は約3L/分です。
●最大給湯量は給水温度・給水圧・じゃ口・配管などの諸条件により異なります。
●ソーラ１、ソーラ２モード運転の場合の給湯量と給湯温度の目安は諸条件により変化します。

給湯使用時

最大給湯量（L/分）			
給湯温度	給水温度		
	5℃（冬期）	15℃（春期･秋期）	25℃（夏期）
37℃	約20	約20	約20
45℃	約16		
55℃	約13	約16	

給湯・ふろ同時使用時

最大給湯量（L/分）			
給湯温度	給水温度		
	5℃（冬期）	15℃（春期･秋期）	25℃（夏期）
37℃	約16	約20	約20
45℃	約12	約17	
55℃	約10	約12	約17

給湯モードの切替について

●この給湯機は太陽熱温水器対応タイプです。給湯モードの切替により、太陽熱温水器と水道水の選択を行うことができます。

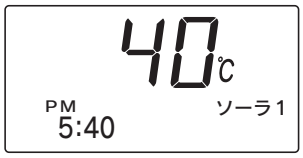
給湯モードの切替方法

●ソーラスイッチを押すと、給湯モードの選択ができます。

→ ソーラ1 → ソーラ2 → ボイラー

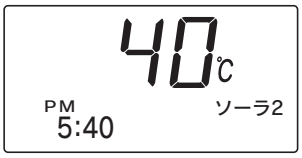
リモコンのドット表示部に、選択された給湯モードが表示されます。
ボイラーモードは表示されません。

ソーラ１ 設定時

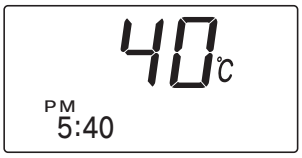


※メインリモコン表示部

ソーラ２ 設定時



ボイラーモード 設定時



●給湯モードと給湯回路の関係

給湯モード	給　湯　回　路	季節	天気
ソーラ 1	太陽熱温水器のお湯と水道水を使用します(燃焼加熱しません)	夏	晴
ソーラ 2	太陽熱温水器のお湯と水道水を使用します(太陽熱温水器のお湯と水道水を自動混合し、燃焼加熱して設定温度のお湯を給湯します)	春・秋	くもり
ボイラー	水道水のみを使用します(燃焼加熱します)	冬	雨

お知らせ

●メインまたはふろリモコンの運転スイッチを「**切**」にしたときは、じゃ口を開くと水道水が給水されます。

ソーラ1モード

●太陽熱温水器が十分に昇温している場合（夏期及び中間期・晴天日など）に、有効なモードです。
●太陽熱温水器のお湯と水道水を自動混合し、設定温度のお湯を給湯します。(太陽熱温水器の湯温がリモコンの設定温度より高いとき。)
●3種類の給湯モードの中で最も省エネのモードです。

使い方

●太陽熱温水器のお湯がリモコンの設定温度より高いとき、ふろ自動運転によるお湯はりやシャワー及び台所の給湯は、リモコンの温度設定で適温のお湯が得られます。
●強いシャワー圧を得る場合は、リモコンの温度設定を高温設定にし、カランで湯水混合してご使用ください。
●太陽熱温水器のお湯がリモコンの設定温度より低いときは、ぬるい湯または冷たい水がそのままでてきますので、**ソーラ2**または**ボイラーモード**で、燃焼加熱してご使用ください。

お知らせ

●太陽熱温水器のお湯がリモコンの設定温度以下になると、ふろ自動運転によるお湯はりやシャワー及び台所の給湯温度も下がります。そのときは、リモコンの設定温度と給湯温度は一致しません。

ソーラ2モード

●太陽熱温水器の昇温が不十分な場合（春、秋、くもりの日など）に、有効なモードです。
●太陽熱温水器のお湯と水道水を自動混合し、燃焼加熱して設定温度のお湯を給湯します。

使い方

●太陽熱温水器のお湯の温度に関係なく、ふろ自動運転によるお湯はりやシャワー及び台所の給湯は、リモコンの温度設定で適温のお湯が得られます。
●太陽熱温水器のお湯がリモコンの設定温度より高いときは、**ソーラ1モード**でご使用ください。　(省エネに効果的です。)

お知らせ

●太陽熱温水器のお湯の温度に応じて燃焼加熱します。
●太陽熱温水器のお湯が設定温度より低くなってきた場合、お湯の出が少なくなることがあります。

ボイラーモード

●太陽熱温水器が利用できない場合（冬期、雨の日及び太陽熱温水器の故障時など）に、有効なモードです。
●水道水を燃焼加熱して設定温度のお湯を給湯します。

使い方

●ふろ自動運転によるお湯はりやシャワー及び台所の給湯は、リモコンの温度設定で適温のお湯が得られます。
●冬期や雨の日など太陽熱温水器のお湯がリモコンの設定温度より低いとき、太陽熱温水器の凍結でお湯がでないとき及び故障のときなどにご使用ください。
●水道直圧式で強いシャワー圧が得られます。

お知らせ

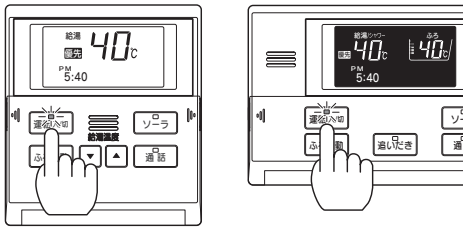
●太陽熱温水器の水は利用しません。

追いだき運転（おふろを沸かします）

⚠注意　追いだき運転、たし湯運転をするときは浴そうの水が循環口より**約 10cm 以上**あることを確認してください。

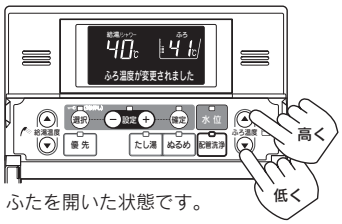
1 運転スイッチを「入」にする

〈メインリモコンの場合〉　〈ふろリモコンの場合〉



運転ランプが点灯します。
操作したリモコンの「**優先**」表示が点灯します。

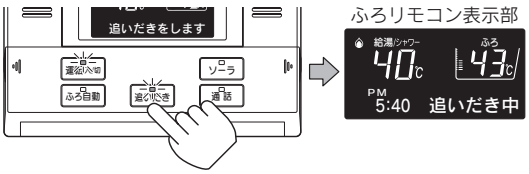
2 ふろ温度調節スイッチを押す（ふろ温度を設定します）

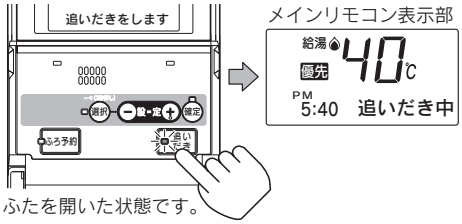


ふたを開いた状態です。

ふろ温度は**約35～48℃**の範囲で調節できます。ふろ温度を変更すると、ドット表示部と音声で「**ふろ温度が変更されました**」と、お知らせします。

3 追いだきスイッチを押す





ふたを開いた状態です。

4 追いだき運転終了

ふろ温度が設定温度より低い場合

設定温度まで沸き上げて自動的に追いだき運転を終了し、追いだきランプが消灯します。

ふろ温度が設定温度より高い場合

現在のふろ温度 **＋約１℃** まで沸き上げ自動的に追いだき運転を終了し追いだきランプが消灯します。

※この場合ふろ温度が設定温度よりも高くなりますので入浴する際は充分注意してください。(最高約４８℃まで沸き上げます)

メインリモコンの追いだきスイッチを押して追いだき運転を開始した場合、メインリモコンのドット表示部と音声で「**おふろが沸きました**」とお知らせします。

メインリモコン表示部

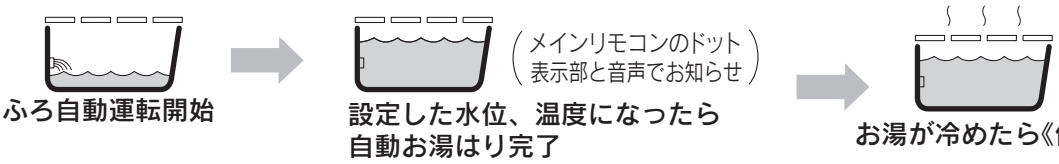
●途中で停止するときは、どちらかリモコンの追いだきスイッチを「**切**」にしてください。

お知らせ

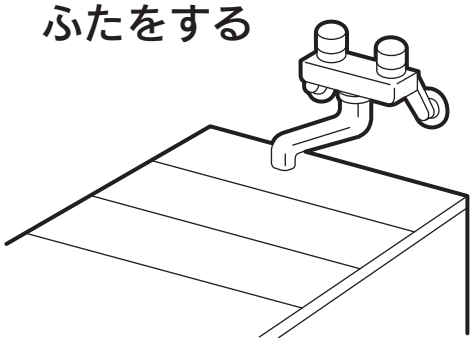
●給湯運転中に追いだき運転をすると、じゃ口のお湯の量が減ることがあります。
●ふろのお湯が冷めた場合は、ぬるい湯を抜いて給湯するよりも、追いだき運転するほうが経済的です。

ふろ自動運転（おふろにお湯をはります）

●自動的に浴そうにお湯をはり《自動お湯はり》、その後はお湯が冷めたら沸き上げを繰り返し、保温を行う運転です。

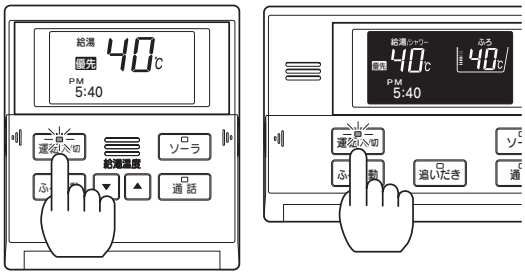


1 浴そうの排水栓とふたをする



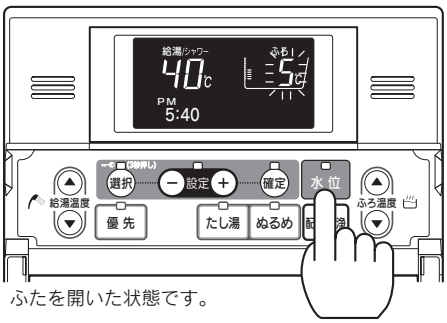
2 運転スイッチを「入」にする

〈メインリモコンの場合〉　〈ふろリモコンの場合〉



運転ランプが点灯します。操作したリモコンの「**優先**」表示が点灯します。

3 ふろリモコンの水位スイッチで浴そうの水位を合わせる



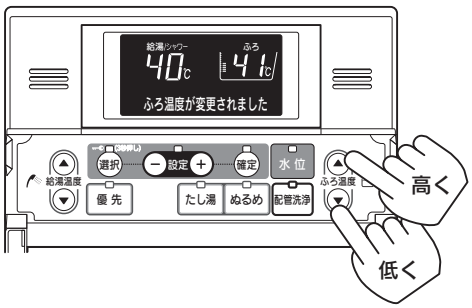
ふたを開いた状態です。

工場出荷時は「**5**」に設定しています。
水位スイッチを押すごとに

1→2→3→4→5→6→7→8→9→10
（少）　　（多）

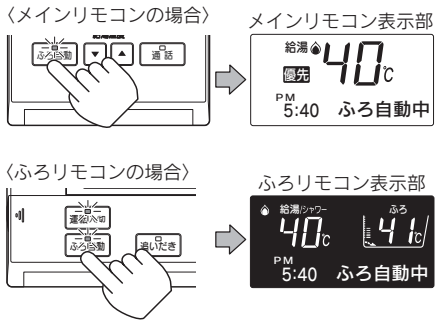
の順で変更されます。設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
水位は循環口の高さから、一段ごとに約25リットルずつ増えます。

4 ふろ温度調節スイッチを押す（ふろ温度を設定します）



ふろ温度は**約35～48℃**の範囲で調節できます。
ふろ温度が変更されると、ドット表示部と音声で「**ふろ温度が変更されました**」とお知らせします。

5 ふろ自動スイッチを押す



ふろ自動ランプが点灯し、ドット表示部と音声で「**お湯はりをします**」とお知らせします。お湯はりを開始すると、ドット表示部に「**ふろ自動中**」と表示します。残り湯の有無を検知するため、お湯はり・停止を数回繰り返します。

6 ふろ自動運転終了

設定した水位までお湯はりすると、自動的に停止します。
ふろ温度まで沸き上げるとお湯はりの完了をメインリモコンのドット表示部と音声で、「**おふろが沸きました**」とお知らせします。

ふろ自動ランプが点灯から点滅に変わり、保温を開始します。その後お湯が冷めたら沸き上げをして設定したふろ温度に保ちます。

保温中はふろ自動ランプが点滅し、リモコンのドット表示部に「**ふろ保温中**」と表示します。

保温を途中で停止するときはどちらかのリモコンのふろ自動スイッチを押して「**切**」にしてください。
保温時間を経過すると、自動的にふろ自動運転を終了します。

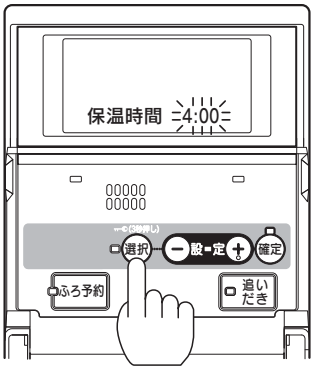
お知らせ

- ソーラ 1モードの場合、ふろ自動運転によるお湯はり完了と同時にふろ自動運転を終了します。ふろ温度がふろ設定温度に達していなくても沸き上げは行いません。
- ソーラ 1モードの場合、お湯はり完了後の保温は行いません。
- 次回からは「***1***」・「***2***」・「***5***」を行うだけでふろ自動運転を開始しますが、やけど防止のため、リモコンのふろ温度も確認してください。
- 一度水位を設定すると、毎回同じ量でお湯はりができます。ただし、残り湯がある場合は水位が変わることがあります。
- ふろ自動運転のお湯はり時間は給水温度によって、夏期は短く冬期は長くなります。
- 保温運転中は約20分に一度循環ポンプが作動して浴そう内の湯温を検知し、湯温が低いときは設定したふろ温度まで沸き上げを行います。
- 保温時間は工場出荷時に「**4時間**」に設定されています。 27ページ
  メインリモコンで保温時間を変更することができます。
- お湯はり中に給湯すると、お湯はりは一時停止します。
  給湯量が少ない場合は、お湯はりが一時停止しないことがあります。
- 洋風バスなど浅い浴そうや循環口の位置によっては、水位設定を高めにすると浴そうからお湯があふれる場合があります。
- 試運転時（設置後最初の運転時のみ）に、浴そうにお湯（水）が入っている状態で、ふろ自動運転をしようとするとエラーコード「002」が出てお湯はりを停止し、設定温度まで沸き上げた後、保温を開始します。このときは、浴そうの水を一度全部抜いてから、再度ふろ自動運転を行ってください。
- 長時間氷点下に放置された状態からの最初の通電及び試運転時に、まれに自動お湯はりするとエラーコード「562」が表示されることがあります。運転スイッチを切って入れ直し、再度自動運転を行なってください。

保温時間の設定

●出荷時に保温時間は「**4時間**」に設定されています。（最大24時間）

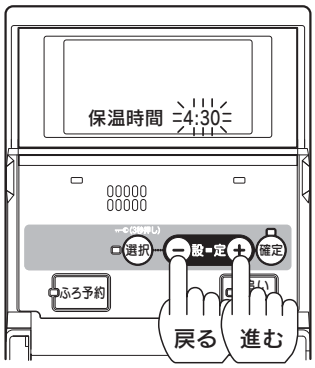
1 メインリモコンの選択スイッチを4回押して「保温時間」を表示させる



ふたを開いた状態です。

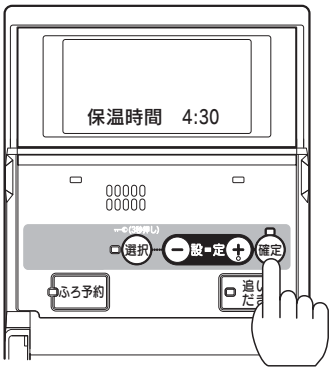
15 ページ

2 設定スイッチを押す



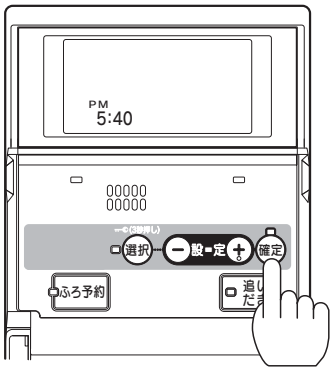
希望の保温時間に設定します。
設定スイッチを押すと保温時間が30分単位で0～24時間まで設定できます。

3 確定スイッチを押す



設定が変更されると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

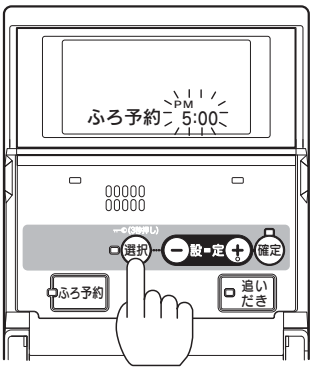
お知らせ

●保温時間中に浴そうの水を抜くとエラーコード「632」が出て運転を停止します。
このときは、リモコンの運転スイッチを「**切**」にしてリセットしてください。

ふろ予約運転の予約時刻設定

●ふろ自動運転の予約ができます。

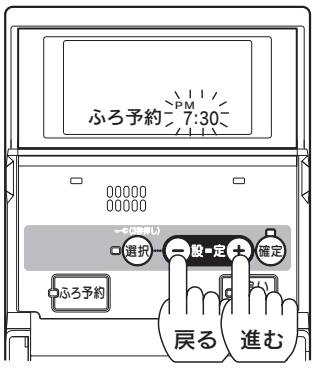
1 メインリモコンの選択スイッチを3回押して「ふろ予約」を表示させる



ふたを開いた状態です。

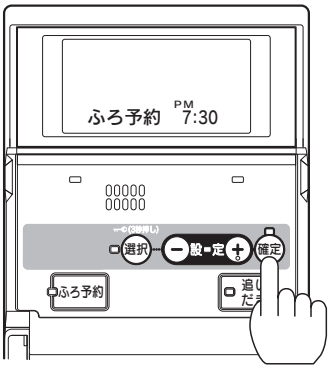
15ページ

2 設定スイッチを押す



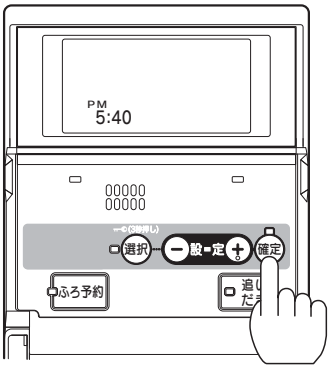
希望の予約時刻に設定します。
１回ずつ押すと１分、押し続けると10分単位で変わります。

3 確定スイッチを押す



設定が変更されると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す

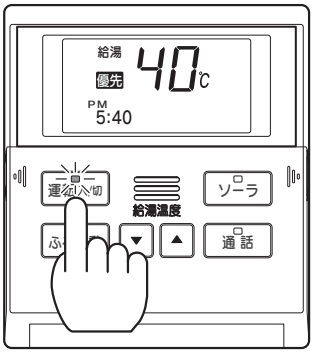


通常の表示に戻ります。

ふろ予約運転（予約時刻におふろに入れます）

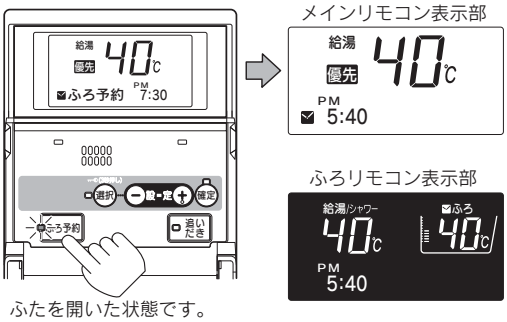
●現在時刻が合っていることを確認してください。
　現在時刻を合わせていないと予約運転はできません。
●設定した予約時刻の約30分前にふろ自動運転を開始します。

1 メインリモコンの運転スイッチを「入」にする



運転ランプ、「**優先**」表示が点灯します。

2 ふろ予約スイッチを押す



ふたを開いた状態です。

ふろ予約ランプが点灯し、ドット表示部にふろ予約時刻と「**ふろ予約**」を表示し、音声で「**お湯はりが予約されました**」とお知らせします。

ふろ予約運転の解除

メインリモコンのふろ予約スイッチを再度押すと、ふろ予約運転が解除されます。

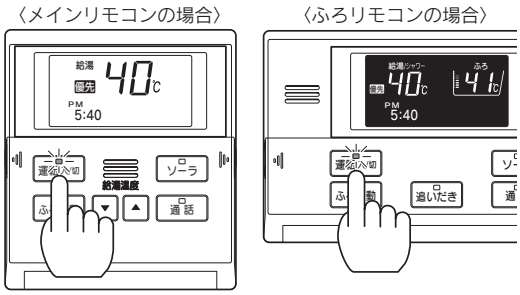
お知らせ

●お湯はりの水位や沸き上げ温度は、ふろ自動運転と同じ設定になります。
●予約中に停電すると予約は解除されます。
●当日のふろ自動運転の予約は、予約時刻の30分以上前に設定してください。
●予約お湯はり中に途中で停止するときは、ふろ自動スイッチを押して「**切**」にしてください。

たし湯運転

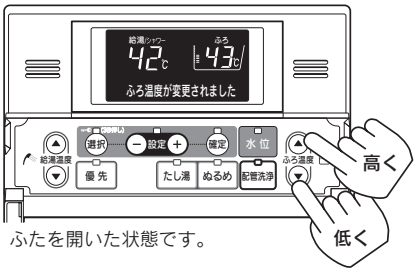
●設定したふろ温度のお湯を約20リットルたし湯し、ふろ温度まで沸き上げます。

1 運転スイッチを「入」にする



運転ランプが点灯します。操作したリモコンの「**優先**」表示が点灯します。

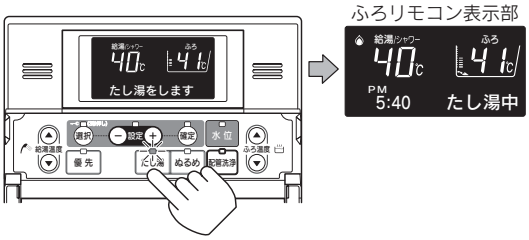
2 ふろ温度調節スイッチを押す



ふたを開いた状態です。

ふろ温度は**約35～48℃**の範囲で調節できます。
ふろ温度が変更されると、ドット表示部と音声で「**ふろ温度が変更されました**」とお知らせします。

3 たし湯スイッチを押す



たし湯ランプが点灯し、ドット表示部と音声で「**たし湯をします**」とお知らせして、約20リットルたし湯します。たし湯運転中は、ドット表示部に「**たし湯中**」と表示します。

4 たし湯運転終了

約20リットルのたし湯をした後、ふろ設定温度まで沸き上げると自動的にたし湯運転を終了し、たし湯ランプが消灯します。

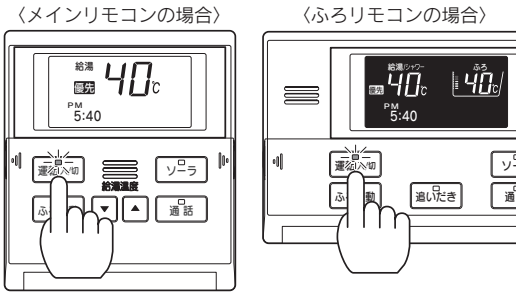
お知らせ

●途中でたし湯運転を停止するときはふろリモコンのたし湯スイッチを押して「**切**」にしてください。
●たし湯運転中に給湯すると、たし湯運転は一時停止します。給湯量が少ない場合は、たし湯運転が一時停止しないことがあります。
●ソーラ１モードの場合、約20リットルのお湯をたした後、ふろ温度がふろ設定温度に達していなくても沸き上げは行わずに、たし湯運転を終了します。

ぬるめ運転

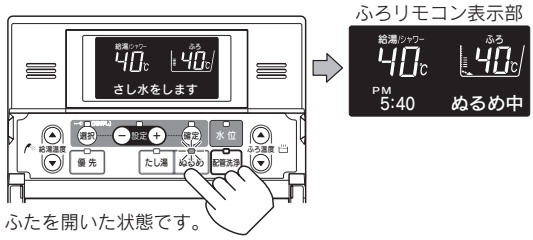
●約10リットルのさし水をしてふろの温度を下げます。

1 運転スイッチを「入」にする



運転ランプが点灯します。操作したリモコンの「**優先**」表示が点灯します。

2 ぬるめスイッチを押す



ふたを開いた状態です。

ぬるめランプが点灯し、ドット表示部と音声で「**さし水をします**」とお知らせして、約10リットルのさし水をします。ぬるめ運転中は、ドット表示部に「**ぬるめ中**」と表示します。

3 ぬるめ運転終了

約10リットルのさし水をすると、自動的にぬるめ運転を終了し、ぬるめランプが消灯します。

お知らせ

●途中で停止するときはふろリモコンのぬるめスイッチを押して「**切**」にしてください。
●ぬるめ運転終了後の湯温は、浴そうのお湯の温度と給水温度によって異なります。
●ぬるめ運転中に給湯すると、ぬるめ運転を終了します。
●給湯使用中はぬるめスイッチを押しても受け付けません。
●ぬるめ運転中、もしくはその後の給湯は最初に水が出ます。

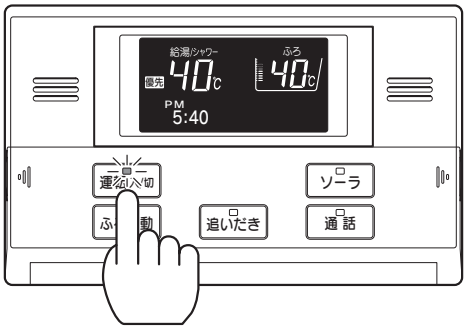
配管洗浄

●配管洗浄機能には、配管内の残水を排水する動作と、配管洗浄剤を使用して配管を洗浄する動作があります。

■配管内の残水を排水する場合

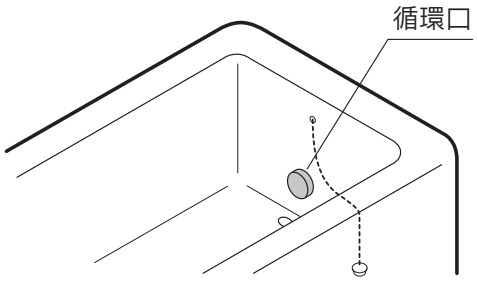
●配管にきれいな水（約５リットル）を流して配管の残り湯を排水します。

1 ふろリモコンの運転スイッチを「入」にする



運転ランプ、「**優先**」表示が点灯します。

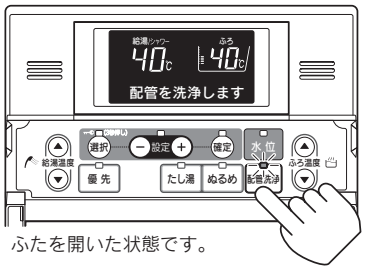
2 浴そうの水位を確認する



浴そうの排水栓を抜く、または残り湯（水）が循環口より下にあることを確認してください。

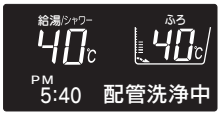
3 配管洗浄スイッチを押す

配管洗浄ランプが点灯し、ドット表示部と音声で「**配管を洗浄します**」とお知らせします。配管洗浄を開始すると、ドット表示部に「**配管洗浄中**」と表示します。

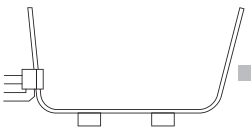


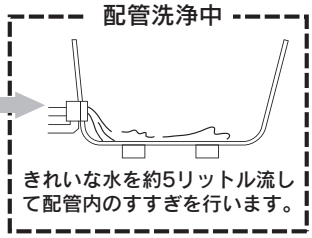
ふたを開いた状態です。

ふろリモコン表示部



メインリモコン表示部





4 配管洗浄終了

配管洗浄ランプが消灯します。

お知らせ

●配管内のすすぎ中（約５リットルの水はり中）に給湯をすると、配管洗浄を終了します。
●給湯使用中は配管洗浄スイッチを押しても受け付けません。

■配管洗浄剤を使用して配管洗浄をする場合

●浴そう内の水を循環させ配管を洗浄します。

1 ふろリモコンの選択スイッチを２回押して「洗浄時間」を表示させる

ふたを開いた状態です。

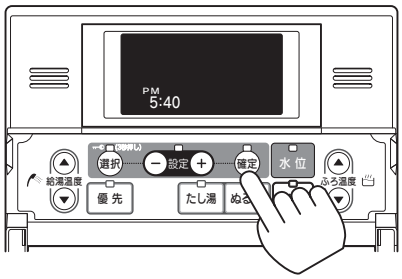
2 設定スイッチを押す

希望の時間に合わせます。
5 ↔ 10 ↔ 15 ↔ 20…60(分)の順で
5分単位で変更されます。

3 確定スイッチを押す

設定が変更されると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。

4 再度、確定スイッチを押す

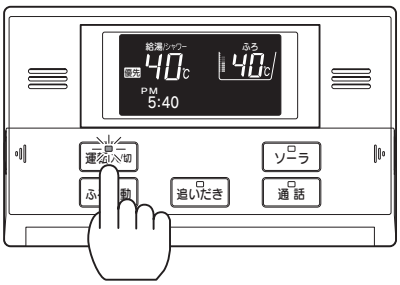


通常の表示に戻ります。

お知らせ

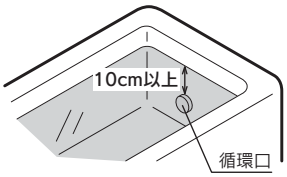
●工場出荷時は「**15分**」に設定しています。

5 ふろリモコンの運転スイッチを「入」にする



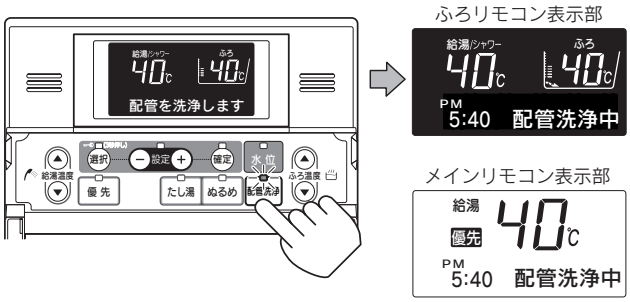
6 浴そうの水位を確認し、配管洗浄剤(強制循環式風呂釜用)を入れる

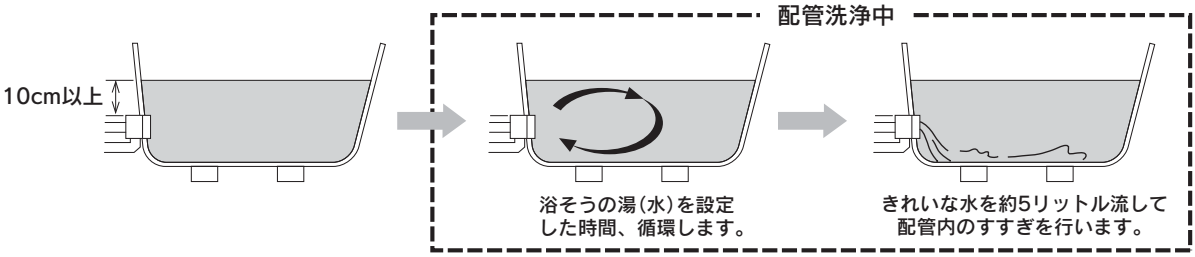
残り湯(水)が循環口より**約10cm以上**あることを確認し、浴そうに配管洗浄剤を入れてよく溶かしてください。



7 配管洗浄スイッチを押す

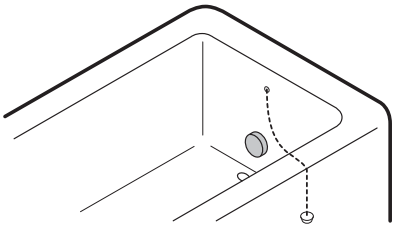
配管洗浄ランプが点灯し、ドット表示部と音声で「**配管を洗浄します**」とお知らせします。
配管洗浄を開始するとドット表示部に「**配管洗浄中**」と表示します。





8 配管洗浄終了

配管洗浄ランプが消灯します。
残り湯(水)を排水して、浴そうをよく水洗いしてください。



お知らせ

- 給湯使用中は配管洗浄スイッチを押しても受け付けません。
- 配管洗浄を途中で停止するときは、ふろリモコンの配管洗浄スイッチを押して「**切**」にしてください。

チャイルドロックの設定

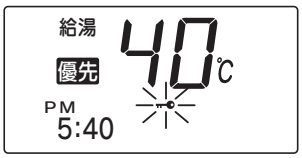
●お子様のいたずらなどによる運転開始、温度変更などを防止します。
● 🔑 が点灯しているときは、通話スイッチの操作と運転スイッチの「**切**」のみ受け付けます。
その他のスイッチを押すと、ドット表示部に「**チャイルドロック中**」を表示し、音声で「**チャイルドロックが設定されています**」とお知らせします。

リモコンの選択スイッチを約3秒間押す

〈メインリモコンの場合〉

ふたを開いた状態です。

メインリモコン表示部



ドット表示部に「**チャイルドロック**」を表示し、
音声で「**チャイルドロックが設定されました**」とお知らせします。
チャイルドロック中はドット表示部に 🔑 を表示します。

〈ふろリモコンの場合〉

ふたを開いた状態です。

ふろリモコン表示部

チャイルドロックの解除

リモコンの選択スイッチを約3秒間押します。
ドット表示部の 🔑 が消灯します。

お知らせ

●チャイルドロックはリモコンごとに設定することができます。
●運転中・停止中に関係なくチャイルドロックの設定ができます。
●停電すると設定が解除されます。

リモコン表示部の明るさ設定

1 選択スイッチを押して「表示･音設定」を表示させる

〈メインリモコンの場合〉

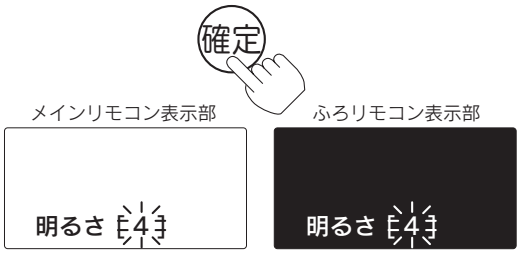
ふたを開いた状態です。

〈ふろリモコンの場合〉

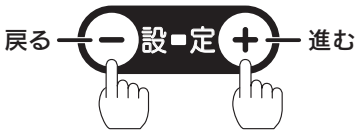
ふたを開いた状態です。

15 ページ

2 確定スイッチを押す



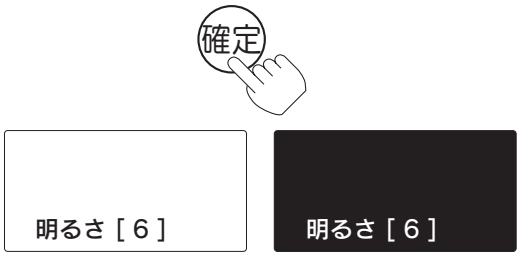
3 設定スイッチを押す



希望の明るさに合わせます。

1 ↔ 2 ･･･ 6 ↔ 7 の順で変更されます。
（暗）　　（明）

4 確定スイッチを押す



設定が変更されると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

5 再度、確定スイッチを押す

通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 工場出荷時は「**4**」に設定しています。
- 表示部の明るさはリモコンごとに設定することができます。

リモコン表示部のコントラスト設定

1 選択スイッチを押して「表示･音設定」を表示させる

〈メインリモコンの場合〉

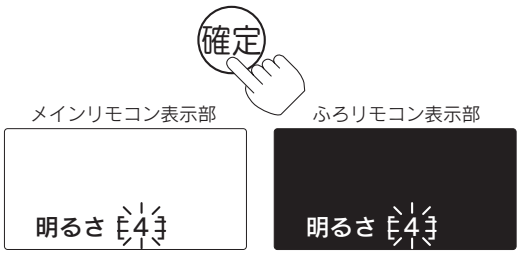
ふたを開いた状態です。

〈ふろリモコンの場合〉

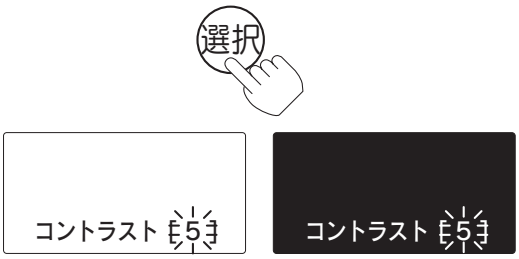
ふたを開いた状態です。

15 ページ

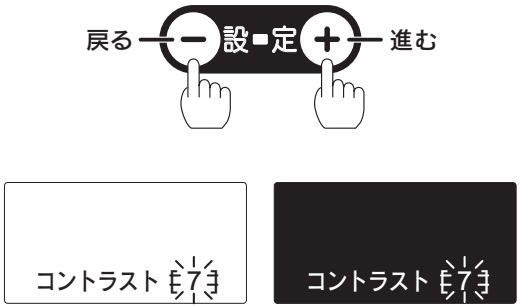
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを押して「コントラスト」を表示させる



4 設定スイッチを押す

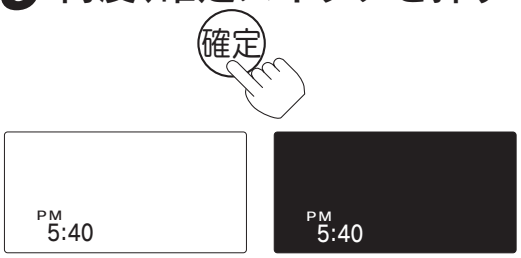


希望のコントラストに合わせます。
1↔2・・・8↔9 の順で変更されます。
（淡）　　（濃）

5 確定スイッチを押す

設定が変更されると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

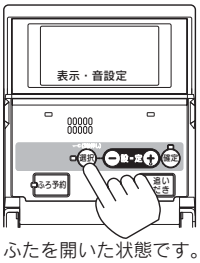
お知らせ

●工場出荷時は「5」に設定しています。
●表示部のコントラストはリモコンごとに設定することができます。

表示モード設定

1 選択スイッチを押して「表示･音設定」を表示させる

〈メインリモコンの場合〉



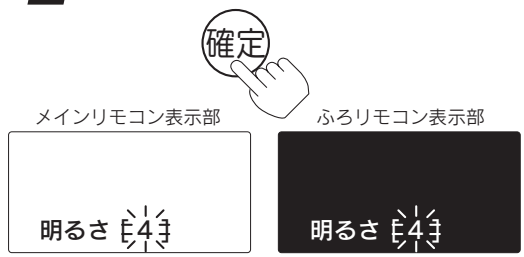
ふたを開いた状態です。

〈ふろリモコンの場合〉

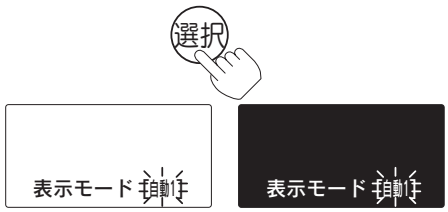
ふたを開いた状態です。

15 ページ

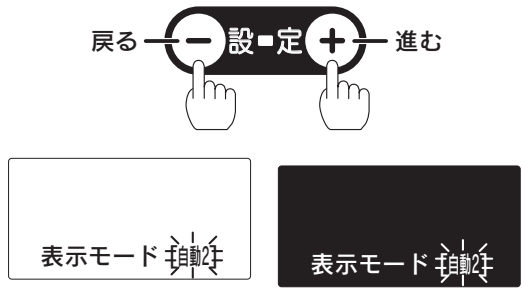
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを２回押して「表示モード」を表示させる



4 設定スイッチを押す



希望の表示モードに合わせます。
→自動1↔自動2↔入↔切← の順で変更されます。

5 確定スイッチを押す

設定が変更されると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す

通常の表示に戻ります。

お知らせ

●工場出荷時は「**自動1**」に設定しています。
●表示モードはリモコンごとに設定することができます。

表示モード設定について

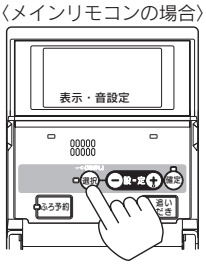
●表示部バックライトの点灯状態を設定することができます。

自動1	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時は設定した明るさより暗くなり節約モードになります。(操作終了約25分後より)
自動2	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時はバックライトを消灯します。(操作終了約25分後より)
入	常に設定した明るさで表示します。
切	常にバックライトを消灯します。

ガイド音量設定

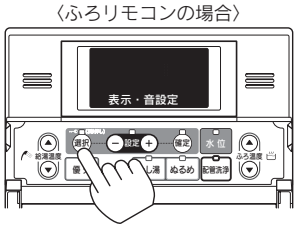
1 選択スイッチを押して「表示･音設定」を表示させる

〈メインリモコンの場合〉



ふたを開いた状態です。

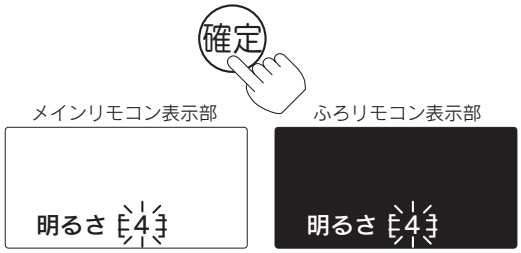
〈ふろリモコンの場合〉



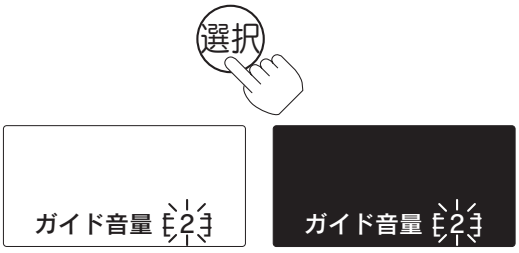
ふたを開いた状態です。

15ページ

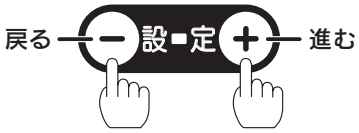
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを３回押して「ガイド音量」を表示させる



4 設定スイッチを押す

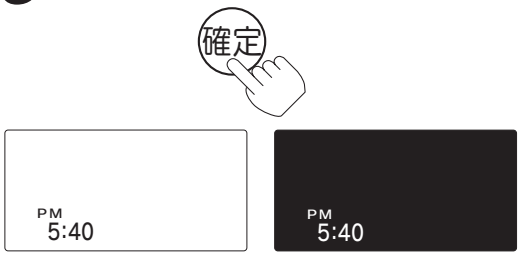


希望の音量に合わせます。
0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 の順で変更されます。
（切）（小）（中）（大）

5 確定スイッチを押す

設定が変更されると、変更した音量で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

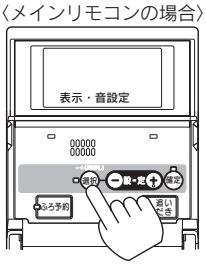
お知らせ

- 工場出荷時は「2」に設定しています。
- ガイド音量はリモコンごとに設定することができます。
- ガイド音量を「0」に設定すると音声は消えますが、操作音（ピッ）は消えません。
  操作音量の設定は40ページをご覧ください。

操作音量設定

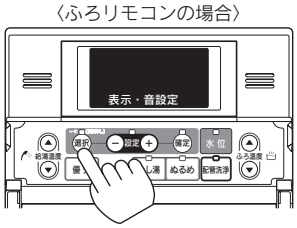
1 選択スイッチを押して「表示･音設定」を表示させる

〈メインリモコンの場合〉



ふたを開いた状態です。

〈ふろリモコンの場合〉



ふたを開いた状態です。

15 ページ

2 確定スイッチを押す

メインリモコン表示部

明るさ E4

ふろリモコン表示部

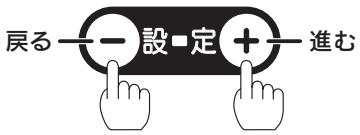
明るさ E4

3 選択スイッチを4回押して「操作音量」を表示させる

操作音量 E2

操作音量 E2

4 設定スイッチを押す



操作音量 E3

操作音量 E3

希望の音量に合わせます。

0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 の順で変更されます。
（切）（小）（中）（大）

5 確定スイッチを押す

操作音量 [3]

操作音量 [3]

設定が変更されると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す

PM 5:40

PM 5:40

通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 工場出荷時は「2」に設定しています。
- 操作音量はリモコンごとに設定することができます。

インターホンの通話方式について

●リモコンの通話方式には「**ハンズフリー方式(H)**」と「**プレストーク方式(P)**」があります。

ハンズフリー方式

通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押すと、後は手を離した状態で通話できます。(**41・42**ページの説明がハンズフリー方式での通話方法です。工場出荷時はこの方式に設定されています。設定を変更する場合は**44**ページをご覧ください。)

プレストーク方式

通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押し、メインリモコンから浴室に話しかけるときにはメインリモコンの通話スイッチを押しながら話す方法です。浴室内の音を常時メインリモコンでモニターしていますので、ふろリモコンからは通話スイッチを押さなくても話ができます。

●ハンズフリー方式ではメインリモコンの周囲が騒々しいとふろリモコンの通話ランプが点滅して、ふろリモコンからの通話ができないことがあります。

●プレストーク方式ではメインリモコンの通話ランプは常に点灯していますが通話状態にはなりません。通話するときは通話スイッチを押しながら話をしてください。

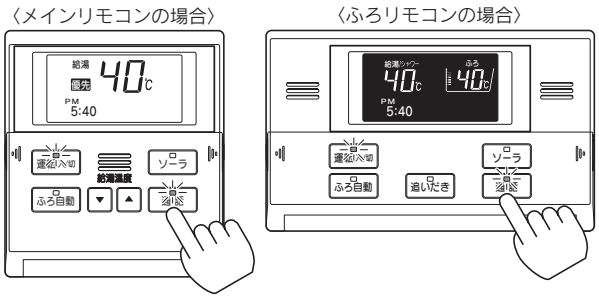
インターホンの使いかた

●メインリモコン、ふろリモコンのどちらからでも通話ができます。

⚠注意	リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しないでください。 大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。
お願い	メインリモコンとふろリモコンの設置場所が近い場合に、通話をするとハウリング(キーンなどの大きな音がする現象)を起こすことがあります。 そのような場合は、お買い求めの販売店に連絡してリモコンの設置場所や向きを変更してください。

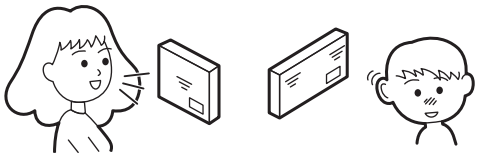
●この説明は、ハンズフリー方式の場合です。

1 通話スイッチを押す



メインリモコンとふろリモコンの通話ランプが点灯して、呼び出し音が鳴ります。

2 通話できます

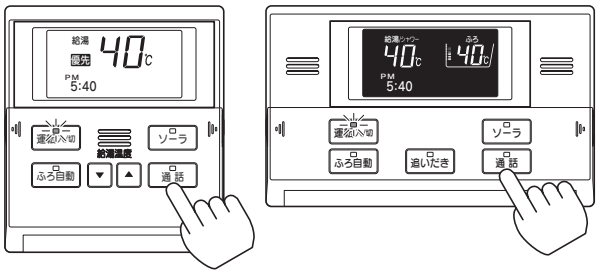


●呼び出し音が鳴り終わってからゆっくりマイクに向かって話をすると、相手のリモコンで声が聞こえます。
●通話ランプが点灯しているときに話ができます。
通話ランプが点滅しているときは話を受けている状態です。このときに話しかけても相手には聞こえません。（同時に両方のリモコンから話すことはできません。）
通話ランプが点灯にならない場合は通話スイッチを押しながら話してください。
●通話スイッチを押しているリモコンの通話が優先されます。
●通話スイッチを押す時間が短いと通話状態が終了することがあります。
●リモコンで話をするときはマイクから約20cm離れて話してください。

3 通話終了

●通話スイッチを押すと通話状態が終了します。
●設定した通話時間が経過すると、自動的に通話ランプが消灯して通話状態が終了します。

45ページ



●話さなかったり、音がしない状態が1分間続いた場合でも、自動的に通話ランプが消灯して通話状態が終了します。
●自動的に通話状態を終了するときは、「**通話を終了します**」と音声でお知らせします。

お知らせ

●音声ガイドが流れているときは通話できません。
●通話スイッチを押した直後は、ふろリモコンからの通話モードになっています。
●話し始めるときに音声が一瞬途切れることがあります。
●スイッチ操作などを行ったときに音声が途切れることがあります。
●音声が途切れたり、声が小さいときはリモコンに近づいて話してください。
●リモコンに近づきすぎて話すと、相手のリモコンで音声が聞きとりにくいことがあります。
●両方が30秒間黙っていると自動的にメインリモコンの通話ランプが点滅になり、ふろリモコンの通話ランプが点灯になります。

インターホンの通話音量設定

1 選択スイッチを押して「表示･音設定」を表示させる

〈メインリモコンの場合〉

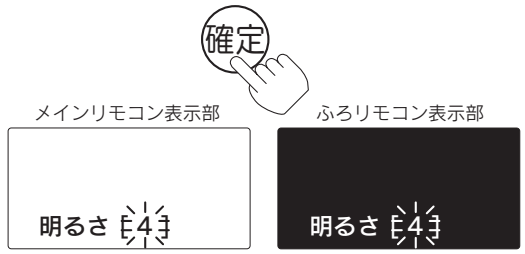
ふたを開いた状態です。

〈ふろリモコンの場合〉

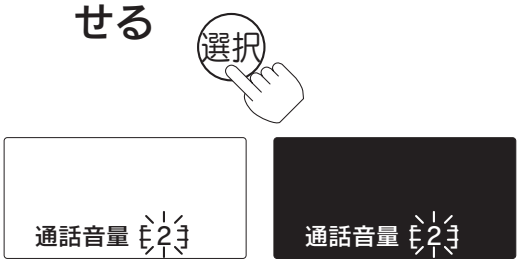
ふたを開いた状態です。

15 ページ

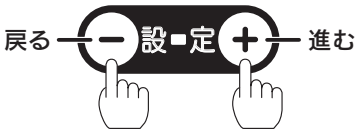
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを5回押して「通話音量」を表示させる



4 設定スイッチを押す

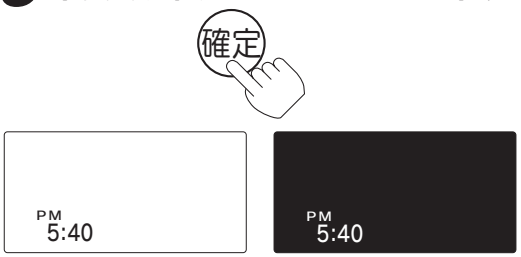


希望の音量に合わせます。
1↔2↔3 の順で変更されます。
（小）（中）（大）

5 確定スイッチを押す

設定が変更されると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
メインリモコンは、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



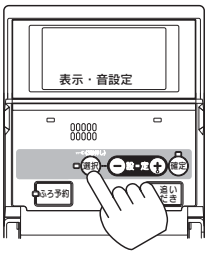
通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 工場出荷時は「2」に設定しています。
- インターホンの通話音量はリモコンごとに設定することができます。

インターホンの通話方式設定

1 メインリモコンの選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる



ふたを開いた状態です。

15ページ

2 確定スイッチを押す

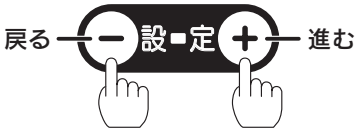
メインリモコン表示部

明るさ 4

3 選択スイッチを6回押して「通話方式」を表示させる

通話方式 H

4 設定スイッチを押す



通話方式 P

希望の設定に合わせます。

H（ハンズフリー） ⟷ P（プレストーク） の順で変更されます。

5 確定スイッチを押す

通話方式 [P]

設定が変更されると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す

PM 5:40

通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 工場出荷時は「H」に設定しています。
- ハンズフリー方式とプレストーク方式については、41ページをご覧ください。

インターホンの通話終了時間設定

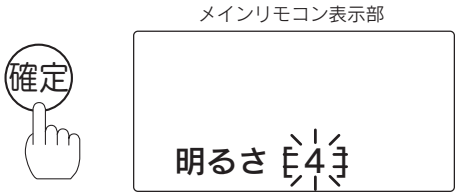
●通話を始めてから自動的に通話状態が終了するまでの時間を設定することができます。

1 メインリモコンの選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる

ふたを開いた状態です。

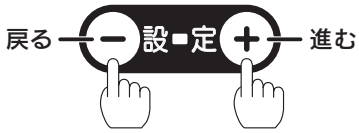
15ページ

2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを7回押して「通話時間」を表示させる

4 設定スイッチを押す

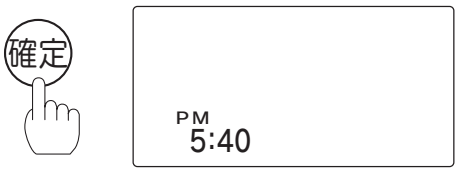


希望の時間に合わせます。
1↔5↔10↔20↔30↔40↔50↔60(分)
の順で変更されます。

5 確定スイッチを押す

設定が変更されると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

●工場出荷時は「**30分**」に設定しています。

音声一覧

[メインリモコン(CMR-2322P)での操作]

操作するスイッチ・条件など			メインリモコンから出る音声ガイド	ふろリモコンから出る音声ガイド
メインリモコンが優先のとき	給湯温度調節スイッチ（押す）	55℃以上	お湯の温度が変更されました あついお湯がでます	お湯の温度が変更されました あついお湯がでます
		50℃以下	お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
ふろリモコンが優先のとき	給湯温度調節スイッチ（押す）		変更できません 優先を確認してください	——
追いだきスイッチ（押す）			追いだきをします	——
追いだきが完了した			♪おふろが沸きました	——
ふろ自動スイッチ（押す）			お湯はりをします	——
お湯はりが完了した			♪おふろが沸きました	——
ふろ予約スイッチ（押す）	現在時刻が設定済み		お湯はりが予約されました	——
	現在時刻が未設定		予約できません 時計を合わせてください	——
	ふろ自動運転中		受付できません　確認してください	——
操作を誤ったとき			受付できません　確認してください	——
ソーラスイッチ（押す）	「ソーラ1モード」		ソーラ1モードに変更します	——
	「ソーラ2モード」		ソーラ2モードに変更します	——
	「ボイラーモード」		ボイラーモードに変更します	——
選択スイッチを約３秒間押す			チャイルドロックが設定されました	——
運転スイッチ・通話スイッチ以外（押す）	チャイルドロック設定中		チャイルドロックが設定されています	——

[ふろリモコン(YST-2320P)での操作]

操作するスイッチ・条件など			ふろリモコンから出る音声ガイド	メインリモコンから出る音声ガイド
ふろリモコンが優先のとき	給湯温度調節スイッチ（押す）	55℃以上	お湯の温度が変更されました あついお湯がでます	お湯の温度が変更されました あついお湯がでます
		50℃以下	お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
	優先スイッチ「切」にする	メインリモコンが55℃以上	お湯の温度が変更されました あついお湯がでます	お湯の温度が変更されました あついお湯がでます
		メインリモコンが50℃以下	お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
メインリモコンが優先のとき	給湯温度調節スイッチ（押す）		変更できません 優先を確認してください	——
	優先スイッチ「入」にする	55℃以上	お湯の温度が変更されました あついお湯がでます	お湯の温度が変更されました あついお湯がでます
		50℃以下	お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
追いだきスイッチ（押す）			追いだきをします	——
ふろ自動スイッチ（押す）			お湯はりをします	——
お湯はりが完了した			——	♪おふろが沸きました
ふろ温度調節スイッチ（押す）			ふろ温度が変更されました	——
水位スイッチ（押す）			変更されました	——
たし湯スイッチ（押す）			たし湯をします	——
ぬるめスイッチ（押す）			さし水をします	——
配管洗浄スイッチ（押す）			配管を洗浄します	——
操作を誤ったとき			受付できません　確認してください	——
ソーラスイッチ（押す）	「ソーラ1モード」		ソーラ1モードに変更します	——
	「ソーラ2モード」		ソーラ2モードに変更します	——
	「ボイラーモード」		ボイラーモードに変更します	——
選択スイッチを約３秒間押す			チャイルドロックが設定されました	——
運転スイッチ・通話スイッチ以外（押す）	チャイルドロック設定中		チャイルドロックが設定されています	——

♪はメロディーが鳴ることを表しています。

使用上の注意

⚠注意

1 排気部に注意

燃焼中や消火直後の排気部は高温です。手など触れないように注意してください。
やけどのおそれがあります。

2 安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。
処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災や事故の原因になります。

52 ページ

3 機器内の水について

機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより水質が変わることがありますので、飲用または調理には用いないでください。

4 油切れに注意

油タンクを空にしないように注意してください。
何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。

16 ページ

5 日常の点検・手入れを行う

54・55ページ

6 入浴剤・洗剤に注意

温泉水やイオウ、酸、アルカリ、油分を含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器の腐食や循環ポンプが故障する原因になりますので、使用しないでください。

7 浴そうの水位が上昇するときは

ふろ自動運転(お湯はり)とたし湯運転、ぬるめ運転以外で浴そうの水位が上昇するときは、すぐに給水元栓を締め、電源プラグを抜いて使用を中止し、販売店に連絡して点検または修理を受けてください。

8 停電後の使用方法

●停電すると運転スイッチは「**切**」になります。
●一度電源が切れると再通電後は運転を行いません。どちらかのリモコンの運転スイッチを「**入**」にして使用してください。
●停電中は給湯じゃ口を閉じてください。
●停電復帰後は設定した温度や予約時刻は記憶していますが、現在時刻は消える場合がありますので、設定し直してください。

18ページ

9 長期間使用しないとき

●長期間使用しないときは凍結予防の「③**機器内の水を抜く方法**」に従って水抜きを行ってください。

50～52ページ

10 地震などの被害があったとき

●電源プラグを抜いて使用を中止してください。
●機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店へご連絡ください。

11 冬期に停電したとき

●凍結により機器が破損するおそれがありますので、凍結予防の「②**給湯じゃ口から水を流す方法**」または「③**機器内の水を抜く方法**」に従って凍結予防を行なってください。

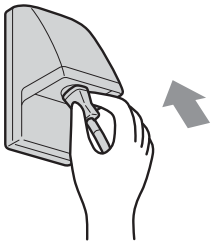
49～52ページ

凍結予防

●冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のために、機器や配管が凍結して破損することがありますので凍結予防が必要です。
●ふろ配管の凍結を予防するために、ふろ配管も必ず保温してください。

1 凍結予防装置による方法(自動)

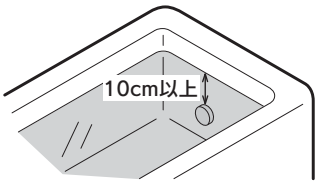
1 給水経路の保温



⚠注意

電源プラグをコンセントに差し込んでおくことにより、凍結予防ヒータにより機器内の給水経路を保温します。

2 ふろ経路の保温



必ず循環口より**約10cm以上**給水してください。
浴そう内の水を循環させ、機器内のふろ経路と配管の凍結を予防します。
ふろ配管の凍結を予防するために、ふろ配管も必ず保温してください。

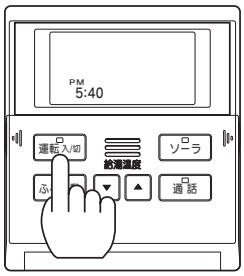
冷え込みが厳しい場合や、風が強い場合は凍結予防装置だけでは効果がありませんので、「2」または「3」の処置を行ってください。

2 給湯じゃ口から水を流す方法

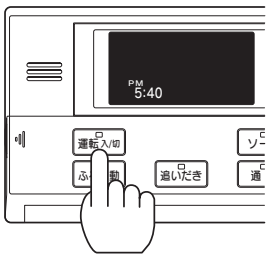
「1 **凍結予防装置による方法**」も必ず同時に行ってください。

1 運転スイッチを「切」にする

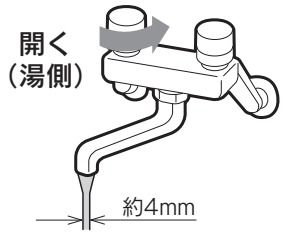
〈メインリモコンの場合〉



〈ふろリモコンの場合〉



2 給湯じゃ口を開く



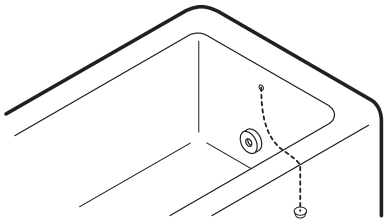
給湯じゃ口を開き、1分間に400cc程度(約4mm)の水を流したままにします。
シングルレバー混合栓の場合は、レバーを湯側にしてじゃ口を開いてください。

お知らせ

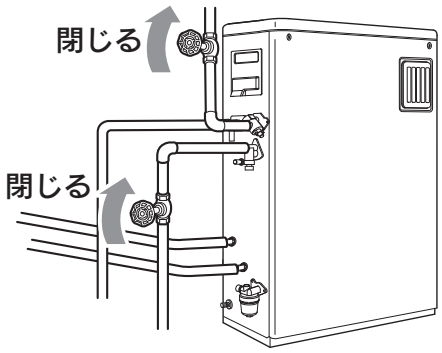
●機器だけでなく、配管やバルブなどの凍結予防にもなります。
●流量が不安定なことがありますので、30分後にもう一度確認してください。

③ 機器内の水を抜く方法（凍結予防装置は作動しません。）

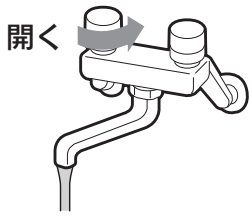
1 浴そうの水を排水する



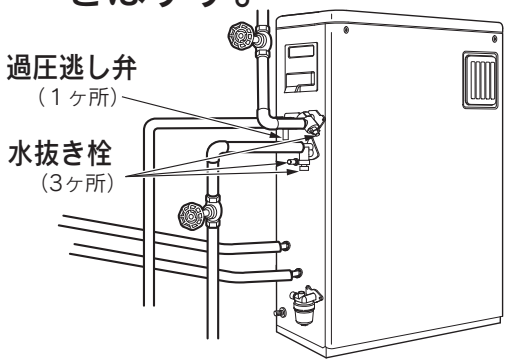
2 給水元栓を閉じる



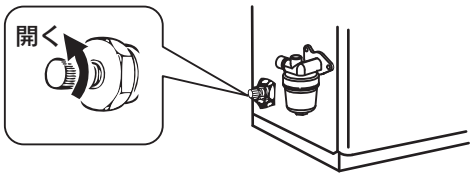
3 給湯じゃ口を開く



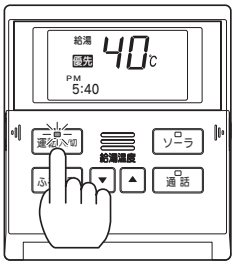
4 過圧逃し弁（1ヶ所）、水抜き栓（3ヶ所）をはずす。

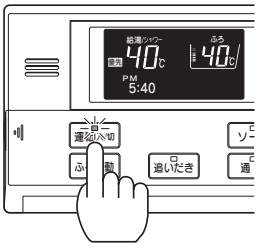


5 排水栓を開く



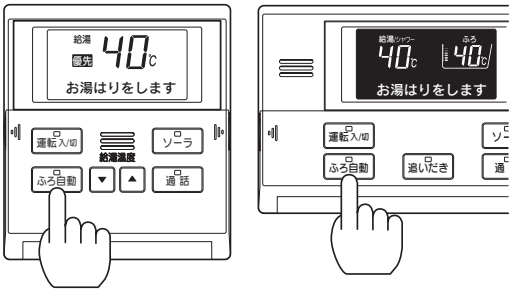
6 運転スイッチを「入」にする



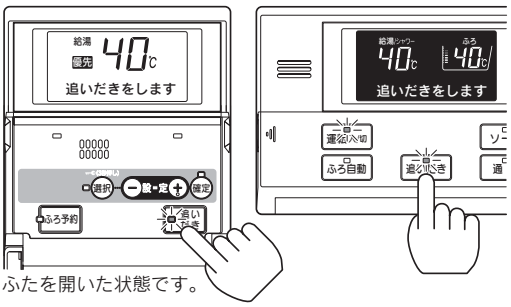


7 ふろ自動スイッチを押す

〈メインリモコンの場合〉 〈ふろリモコンの場合〉



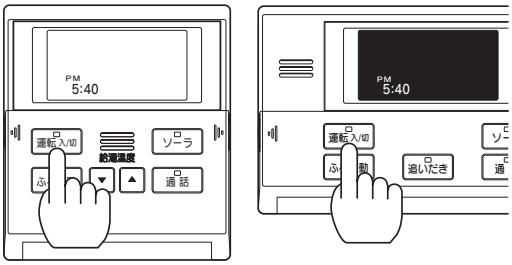
8 追いだきスイッチを押す



ふたを開いた状態です。

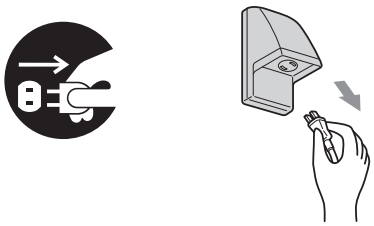
追いだきスイッチを押して、配管内の水を出してください。

9 運転スイッチを「切」にする



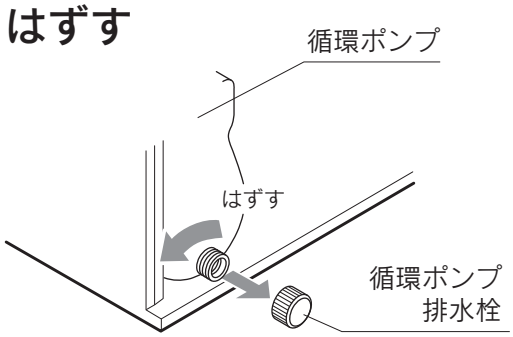
循環口から水が出なくなったら、運転スイッチを「**切**」にしてください。

10 電源プラグを抜く



送風機が停止してから、電源プラグを抜いてください。

11 循環ポンプ排水栓をはずす



前パネルをはずしてから行なってください。
また、循環ポンプの排水栓をはずした後、前パネルを元通りに取付けてください。

お知らせ

●水を抜く方法は、配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。
●氷点下で長時間置かれた状態からの再通電及び通水時、まれに自動お湯はりすると「562」が表示されることがあります。運転スイッチを切って入れ直し再度自動運転を行なってください。

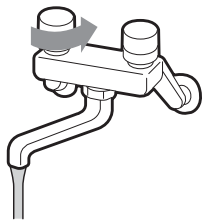
運転再開始時の注意

●機器を運転する前には必ず次のことを確認してください。
確認しないで運転すると機器が破損することがあります。
●再度使用する場合は排水栓を閉じ、過圧逃し弁・水抜き栓・循環ポンプの排水栓を元通りに取付け、給水元栓を開いてから水が出ることを確認してください。
その後、「**使用前の準備**」と「**使用方法**」に従って使用してください。

16～52 ページ

給湯じゃ口を開く

給湯じゃ口を開いて、水が出てくるか確認してください。水が出にくいときには凍結していますので、水が正常に出るようになってから運転してください。



安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
対震自動消火装置（感震器）	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して自動消火します。 57 ページ	周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認して、リセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
燃焼制御装置（制御基板）	バーナーが着火ミスや失火したときに作動して自動停止します。 57 ページ	作動原因を処置してリセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して自動消火します。	再通電後は運転停止になりますので、再使用時はリモコンの運転スイッチを「**入**」にしてください。

※**リセット(警報解除)の方法**…リモコンの運転スイッチを一度「**切**」にしてから再度「**入**」にします。

その他の装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
異常過熱防止装置	サーミスタ、燃焼制御装置の故障、空だきなどにより熱交換器が異常に過熱したときに作動して自動消火します。 57 ページ	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
温度ヒューズ（185℃）		
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように凍結予防ヒータが自動的に作動し、保温します。	機器を運転した場合や凍結のおそれがなくなると自動的に切れます。
	機器内が約３℃以下になると、浴そう内の水を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結防止します。	凍結のおそれがなくなると自動的に切れます。
電流ヒューズ（10A）	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動消火します。	お買い求めの販売店にご連絡ください。
送風機ヒューズ（3A）	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動消火します。 57 ページ	
過圧逃し弁	熱交換器内の圧力が異常に上昇したときに作動して、圧力を外部に逃がして熱交換器を保護します。	給湯じゃ口を閉じたとき、または追いだきしたとき、少量水が出る場合は故障ではありません。連続して漏れる場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検、手入れのときの注意

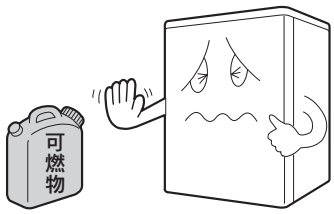
⚠注意

- 点検、手入れは必ず消火後、機器が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 点検、手入れの際は金属部に充分注意してください。ケガの原因になることがあります。
- 点検、手入れの際は必ず手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は販売店にご連絡ください。

点検、手入れの必要項目、時期、方法

毎日

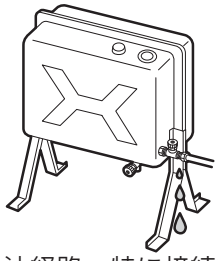
周囲の可燃物



⚠注意

機器、排気部および油タンクの周囲に可燃物や、危険物がないか確認してください。

油漏れ、油のたまり、油のにじみ



⚠注意

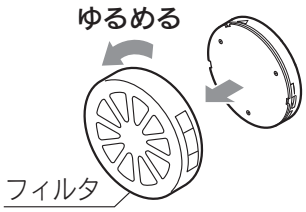
機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか確認してください。

機器の周囲

⚠警告

本体の上や周囲にものを置かないでください。
排気部の前にものが置かれていないか確認してください。

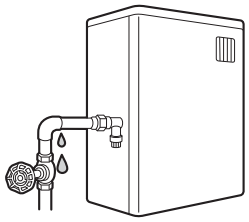
循環口フィルタの掃除



浴そうを掃除するときは、循環口フィルタもはずして掃除してください。

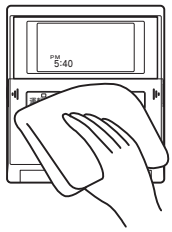
適時に

水漏れ



機器、配管などから水漏れしていないことを確認してください。

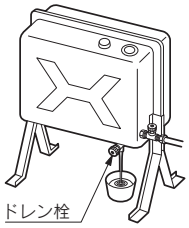
リモコン



水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装がはがれたり、傷の原因となります。

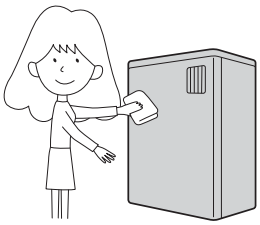
1年に1回以上

油タンク



油タンクに水がたまる場合がありますので、タンクのドレン栓を開いて必ず抜きとってください。ドレン栓の形状はタンクによって異なります。

ほこり

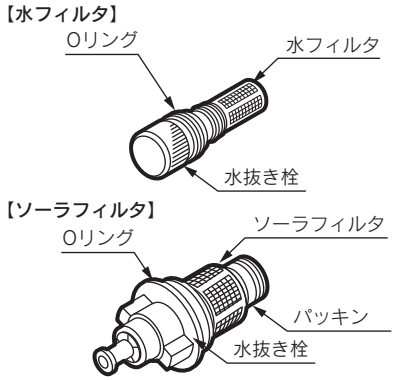


機器外面にほこりがたまっていたり、汚れていたら、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。必ず手袋などをして行ってください。

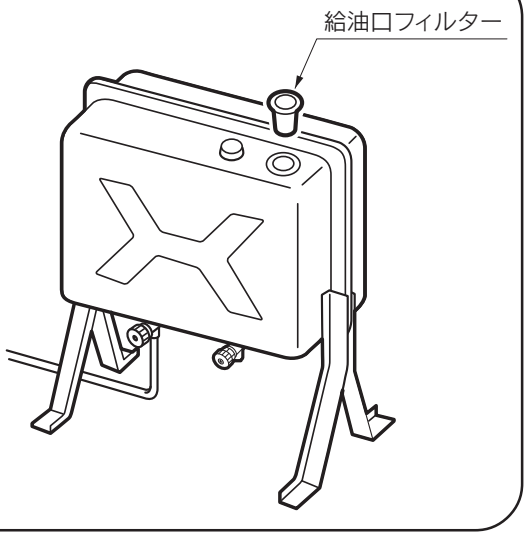
水フィルタ(2ヶ所)の掃除

配管内のゴミが水フィルタにたまると湯が出にくくなりますので、定期的に水フィルタを掃除してください。

（1）給水元栓及び太陽熱機器の止水栓を閉じます。
（2）水抜き栓についている水フィルタ(1ヶ所)及びソーラフィルタ(1ヶ所)を掃除します。
水フィルタ及びソーラフィルタを変形させないように注意してください。
（3）ソーラフィルタの逆止弁のパッキンを掃除します。
（4）水フィルタ(2ヶ所)を取付け、給水元栓及び太陽熱温水器の止水栓を開いた後、給湯じゃ口を開き、配管内の空気を抜いてください。
給湯じゃ口を開き、配管内の空気を抜いてください。
※フィルタはホルダーからはずさないでください。



給油口フィルターの掃除



定期的に給油口フィルターにたまったゴミを
取除いてください。

油ストレーナの点検

油ストレーナに水やゴミがたまっていないか販売店に点検を依頼してください。

ふろ熱交換器の掃除

ふろ熱交換器に湯あかがたまると熱交換が悪くなります。
洗浄剤を入れて、配管洗浄機能で掃除してください。 33～34 ページ

故障・異常の見分けかたと処置方法

エラーコード一覧

●リモコンの**ドット表示部**に故障・異常箇所をエラーコードで表示します。
●確認・処理後リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

エラーコード	説　明	確認・処置
000	停電復帰検知	停電の有無を確認してください。
002	初期残り湯検知	浴そうの水を抜き、再度ふろ自動運転を行ってください。
012	追いだき時間オーバー	お買い求めの販売店にご連絡ください。
032 412 562	お湯はりが正常に終了しない お湯はりが止まらない お湯はりが完了しない	
100	対震自動消火装置作動	機器および周囲に異常がないことを確認後、リセットしてください。
110	着火ミス	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。 何度もリセットを繰返すと危険です。 ２、３回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
120	途中失火	
150 160	異常過熱防止装置作動	お買い求めの販売店にご連絡ください。
161	高温出湯異常(給湯温度)	
163	高温出湯異常(缶体出口温度)	
164	高温出湯異常(缶体入口温度)	
252	ふろ水流スイッチ異常	
302	凍結予防サーミスタ異常	
311	給水サーミスタ異常	
312	ふろサーミスタ異常	
321	給湯サーミスタ異常	
322	缶体サーミスタ異常	
330	缶体出口サーミスタ異常	
331	缶体入口サーミスタ異常	
334	缶体入口サーミスタ高温検知	
341	太陽熱サーミスタ異常	
350	油サーミスタ異常	
541	ソーラ混合弁異常	
550	ダンパモータ異常	
610	送風機異常	
632	ふろ循環異常	浴そうの水位を確認してください。
651	水比例弁異常	電源プラグを差し直してください。
661	混合弁異常	
720	炎検出器異常/疑似炎検知	お買い求めの販売店にご連絡ください。
730	制御基板(記憶回路)異常	電源プラグを差し直してください。
740 750 760	通信異常	
911	給水誤配管	お買い求めの販売店にご連絡ください。

※エラーコード「541」・「651」・「661」は機器に通水する前に運転スイッチを入れると表示されることがあります。機器内の水を抜いた後は、機器に通水してからリセットしてください。
※リセット(警報解除)…リモコンの運転スイッチを一度「**切**」にしてから再度「**入**」にします。

修理を依頼する前に

●次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

現　　象	説　　明
お湯が白く見える	水中に溶けていた空気が分離して白く見えたり小さな泡となって出てくるためです。
湯温・湯量が不安定なことがある	他の給湯じゃ口を同時に使用するとお湯が熱くなったり、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。 また、給湯じゃ口を絞りすぎると（約3L/分以下）、点火しなくなる場合があります。
給湯じゃ口を開いてもすぐにお湯が出ない	機器から給湯じゃ口までは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
排気部から湯気が出る	排ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えるためです。
油を切らした後、給油しても火がつかない	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。 16 ページ
追いだきするとき、保温時に断続運転する	設定温度になると運転を停止し、温度が下がると運転を行なうためです。
お湯の出が悪くなった	水フィルタ、ソーラフィルタ、じゃ口のフィルタにゴミがつまっていませんか。 掃除してください。 55 ページ
運転スイッチを「**切**」にしてもしばらくの間、送風機が回っている	燃焼室内の排ガスを排出するためです。
停電後、リモコンの表示が出ない	リモコンの運転スイッチを押して「**入**」にすると表示が出ます。
温度調節しても温度が変らない	リモコンの優先表示が点灯していないと温度を調節できません。
燃焼停止後、過圧逃し弁からお湯が出る	熱交換器内の圧力が上がりすぎないように、上昇した圧力を逃すためです。
循環が悪い	循環口フィルタにゴミがつまっていませんか。 掃除してください。 54 ページ
寒いときに循環ポンプが作動する	循環ポンプの凍結を予防するために、機器内が約３℃以下になると凍結予防装置により、循環ポンプが運転・停止をくり返します。
リモコンの表面が熱く感じる	使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じることがあります。 リモコンの運転スイッチを「**切**」にしていても電子回路が作動していますので発熱があります。
ソーラ１、ソーラ2モードでお湯または水が途中で出なくなる。	太陽熱配管の凍結や故障が考えられます。機器入口までの配管経路を確認してください。

部品交換のしかた

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

●部品は必ず**Asahi石油給湯機付ふろがま純正部品(指定された部品)**を使用してください。
●故障したままで使用しないでください。
●不完全な修理は危険です。故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

定期点検

●長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
機器を安心して長くご使用いただくために、１年に１回程度は定期点検を受けることをおすすめします。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては(社)日本水道協会発行の「**給水用具の維持管理指針**」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は４～６年に１回程度をおすすめします。
●定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です)

法定点検

●この機器は、消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
●この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ１年間(製造後９年から11年)を法定点検時期と設定しています。法定点検期間の直前にご登録いただいた所有者情報(添付のはがきを返送してください)に基づき、弊社より点検通知を送付いたします。
●詳しくは『特定保守製品についての説明書』をご覧ください。

仕様

型名		ASE-K34
種類		圧力噴霧式、水道直結式、瞬間型、2缶2水路式 強制循環式、屋外用開放形
点火方式		高圧放電式
最低作動水量		3.0±0.5L/min
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)
燃料消費量	給湯側	54.5kW(5.30L/h)
	ふろ側	13.4kW(1.30L/h)
発熱量(入力)	ふろ側	49,400kJ/h(11,800kcal/h)
湯沸効率	ふろ側	83.8%
連続給湯効率	給湯側	86.0%
連続給湯出力	給湯側	46.5kW(40,000kcal/h)
熱交換器容量	給湯側	1.0L
	ふろ側	1.1L
使用圧力(最高使用圧力)		1.0MPa(10kgf/cm²)
伝熱面積	給湯側	0.26m²
	ふろ側	0.13m²
外形寸法		高さ765mm　幅550mm　奥行220mm
質量		38kg
電源電圧及び周波数		100V　50/60Hz
定格消費電力	給湯使用	点火時 130/120W、燃焼時 120/115W
	給湯・ふろ同時使用	点火時 210/240W、燃焼時 205/230W
待機時消費電力		3.3W
排気温度		260℃以下
騒音レベル		60dB以下
型式の呼び		ASE-K33
ノズル	噴霧量	1.45GPHリターンノズル
	スプレーパターン	エバーロイ社のセミフォロー
	噴霧角度	70°
循環管取付口径		R1/2(15A)
基準浴槽		有効水量 200～300L(最大400Lまで)
電流ヒューズ		10A
送風機ヒューズ		3A
温度ヒューズ		185℃
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置
その他の装置		異常過熱防止装置・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 温度ヒューズ・過圧逃し弁
付属品		メインリモコン・ふろリモコン・メインリモコンコード・ふろリモコンコード アース棒・転倒防止金具・防水カバー・リモコンパイプ・製品固定用ビスセット メインリモコン工事用ビスセット・ふろリモコン工事用ビスセット 油配管用φ8銅管・ビニルホース・防水カバーパッキン・継手パイプ・排水栓付きプラグ 給油口フィルター・表示シール (3種類)・取扱説明書・工事説明書・保証書・所有者票袋
バーナー型名		SB-428D
区分名(省エネ法)		A
エネルギー消費効率		86.0%

アフターサービス

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に57～58ページの「**故障・異常の見分けかたと処置方法**」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、ご使用を中止し電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品　　名……Asahi石油給湯機付ふろがま
2. 型　　名……ASE-K34
3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況……できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日

保証・修理について

この機器には「保証書」を添付しています（別添付）

●正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。
　お買い求めの販売店にご相談ください。
●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
●温泉水・井戸水での使用は、保証の対象外となります。
●凍結やスケール（石灰づまり）による故障の場合は保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品について

石油給湯機付ふろがまの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後11年です

●性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け

据付け工事は販売店に依頼する

据付けや移動工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付け場所の選定および標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「**特に注意していただきたいこと**」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談してください。
また、「**標準据付け図例**」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設する場合

転居する場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
移設は販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「**特に注意していただきたいこと**」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられているかどうか確認してください。

試運転（試運転はお買い求めの販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。）

運転準備

準備内容(確認事項)	チェック
(1) 油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
(2) 油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
(3) 送油管が逆U字型になっていませんか。	
(4) 給水元栓を開き、給湯じゃ口を開くと水が出ますか。	
(5) 機器や配管から水漏れはありませんか。	
(6) リモコンの端子は確実に接続されていますか。	
(7) 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	
(8) 太陽熱温水器と給湯機本体までの配管内部のエアは抜けていますか。	
(9) 屋外に設置され、通気は十分されていますか。	
(10)バーナーの点火・消火は確実ですか。リモコンの燃焼表示で確認してください。	
(11)温度調節はできますか。湯温が変化するかどうか確認してください。。	

運転　※必ず１→２→３の順で行ってください。

1 給　湯

（1）運転開始手順
いずれかのリモコンの運転スイッチを「**入**」にして、ソーラスイッチで「**ボイラー**」モードにして給湯じゃ口を開いてください。「**優先**」表示の点灯したリモコンの給湯温度調節スイッチでご希望の温度に調節してください。

（2）初期運転時の異常現象
運転開始時に電磁ポンプから「ビービー」という音が出ますが、しばらくすると静かになり、**燃焼表示**が点灯し燃焼をはじめます。

（3）正常運転のめやす
湯温調節できるか、排気部からススや煙が出ていないか、また異音はしていないか確認してください。
ソーラ１モード、ソーラ２モードも正常な動作をするか確認してください。ソーラスイッチを操作し給湯モードを選択します。

ソーラ1モード

・給湯温度調節スイッチを押して湯温の変化を確認します。(設定温度よりソーラ水温度が低い場合はソーラ水がそのまま流れるため設定温度にはなりません)

ソーラ2モード

・給湯温度調節スイッチを押して湯温の変化を確認します。

（4）停止
給湯じゃ口を閉じると**燃焼表示**が消灯し、バーナーが停止します。
どちらかのリモコンの運転スイッチを「**切**」にしてください。

2 ふろ自動運転

設置後最初にふろ自動運転を行う場合には、ふろ自動運転の前に浴そうに水（湯）が入っていないことを確認してください。水（湯）が入っている場合は、いったん水を抜いて空にしてください。

（1）運転開始手順
浴そうの排水栓とふたをし、いずれかのリモコンの運転スイッチを「**入**」にします。ソーラスイッチで「**ボイラー**」モードにして、ふろ自動スイッチを「**入**」にします。**運転ランプ**、**燃焼表示**、**お湯はり表示**、**ふろ自動ランプ**が点灯します。

（2）初期運転時の異常現象
最初にふろ自動運転する場合は、お湯といっしょに空気が出ますが、しばらくすると空気は出なくなります。お湯が出ない場合は配管を確認してください。

（3）正常運転のめやす
設定量になるとお湯はりを停止し、その後設定温度で保温することを確認してください。
(給湯モードがソーラ1モードのときは、ふろの温度と設定温度が一致しないことがあります。また保温は行いません。)

（4）停止
どちらかのリモコンのふろ自動スイッチを「**切**」にしてください。
燃焼表示、**ふろ自動ランプ**が消灯します。その後どちらかのリモコンの運転スイッチを「**切**」にします。

3 追いだき運転

追いだき運転をする前に、「2 ふろ自動運転」が終了していることを確認してください。（配管内の空気抜きを行うためです。）

（1）運転開始手順
浴そうの水が循環口より**約10cm以上**あることを確認してください。
どちらかのリモコンの運転スイッチと追いだきスイッチを「**入**」にしてください。**運転ランプ**、**燃焼表示**、**追いだきランプ**が点灯します。

（2）初期運転時に異常現象
最初に追いだき運転する場合は、循環するまで時間がかかることがあります。
循環しない場合は、ふろ自動運転またはたし湯運転を行ってください。

（3）正常運転のめやす
リモコンの**追いだきランプ**が点灯し、循環ポンプが作動していることを確認してください。

（4）停止
どちらかのリモコンの追いだきスイッチを「**切**」にしてください。**燃焼表示**、**追いだきランプ**が消灯します。その後どちらかのリモコンの運転スイッチを「**切**」にします。

お知らせ

●追いだき運転をする前に、必ずふろ自動運転（自動お湯はり）またはたし湯運転を行なってください。
●試運転時は内部の防錆油が燃えるため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると出なくなります。
●リモコンの燃焼表示が点滅してバーナーが停止した場合は、エラーコードを参照して原因を調べて処置してください。

57ページ

Asahi
朝日ソーラー株式会社
〒870-0844 大分県大分市古国府1003-2
TEL:(097)546-7500(代) FAX:(097)546-7555
http://www.asahisolar.co.jp

販 売 店